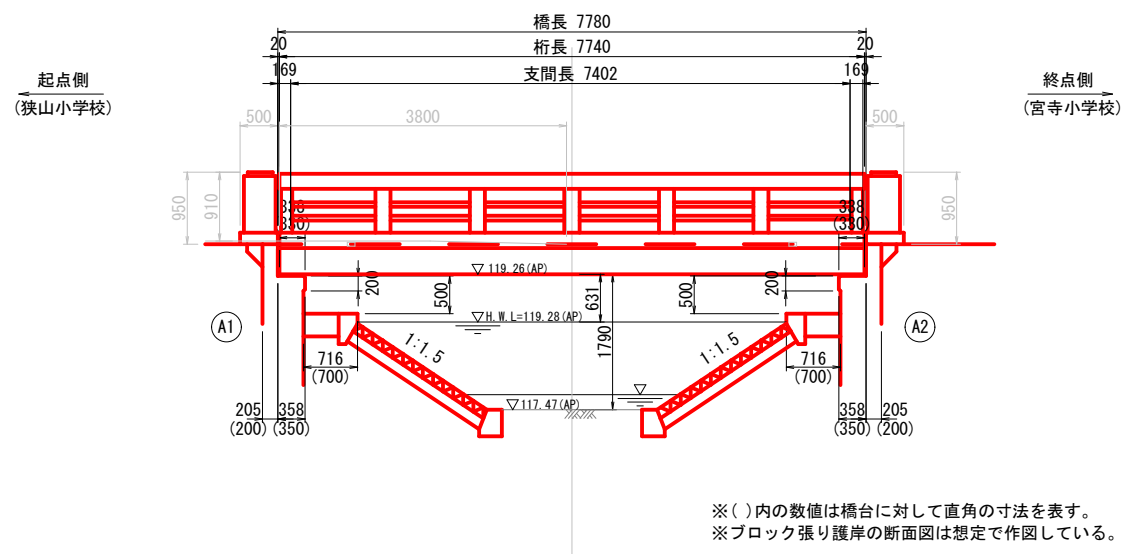
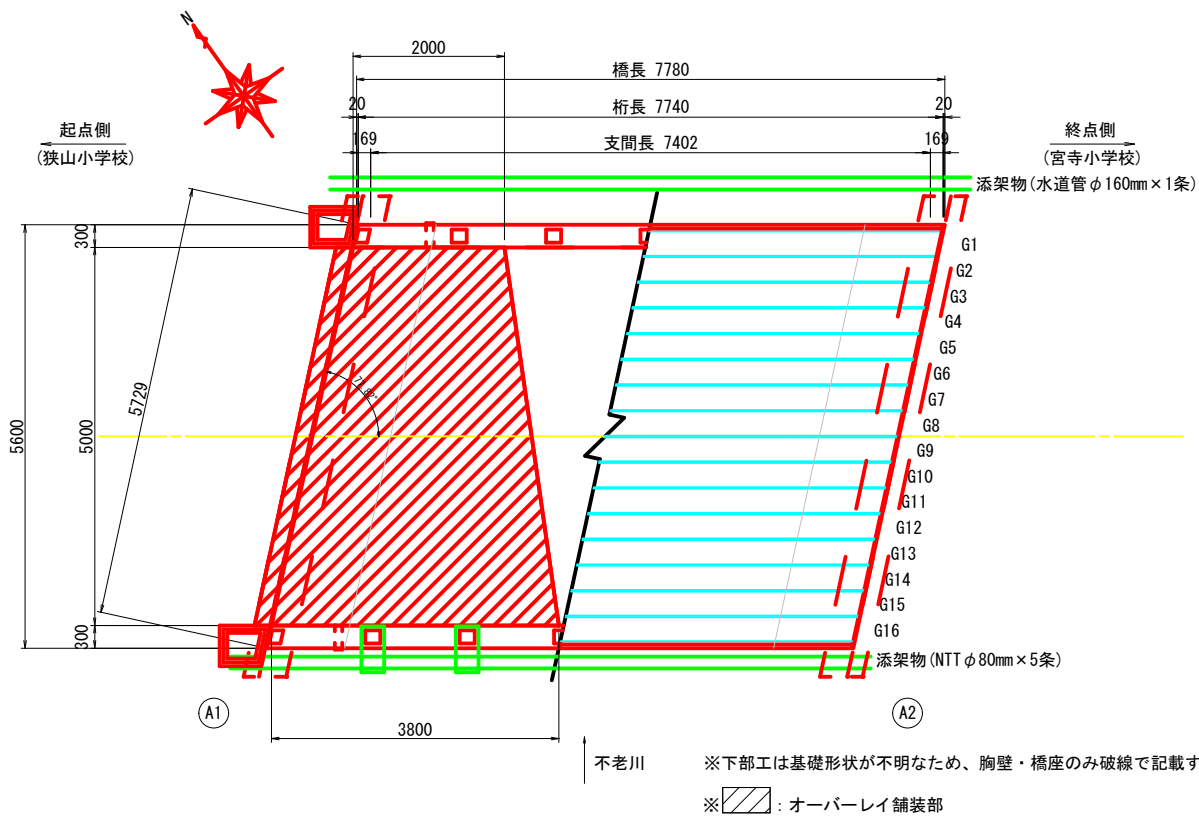


大橋 橋梁一般図

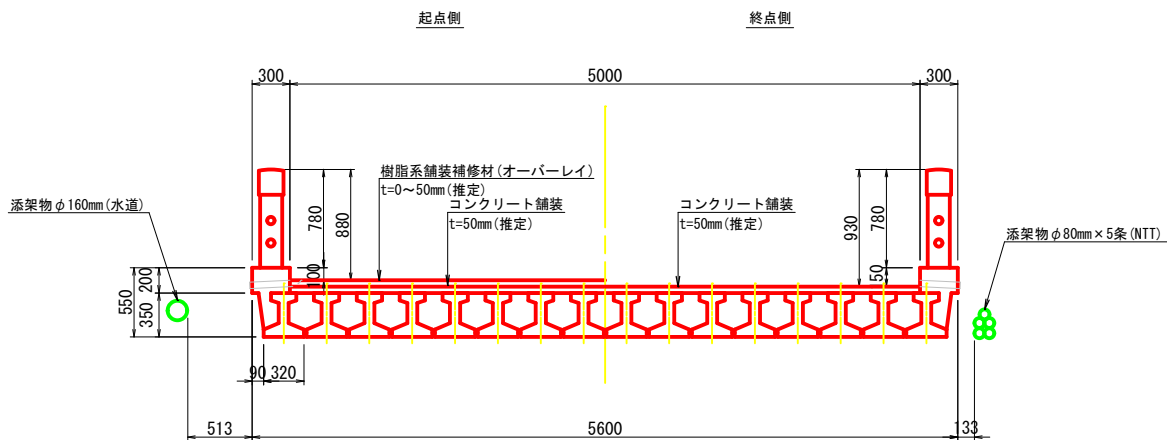
側面図 S=1/50



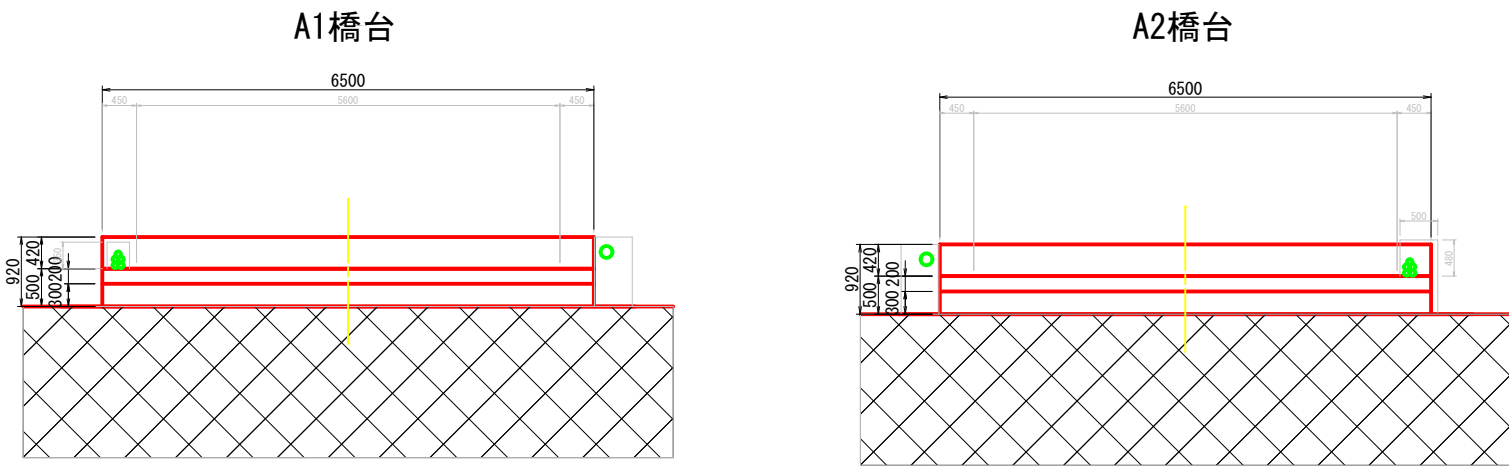
平面図 S=1/50



断面図 S=1/30



正面図 S=1/50



橋梁諸元

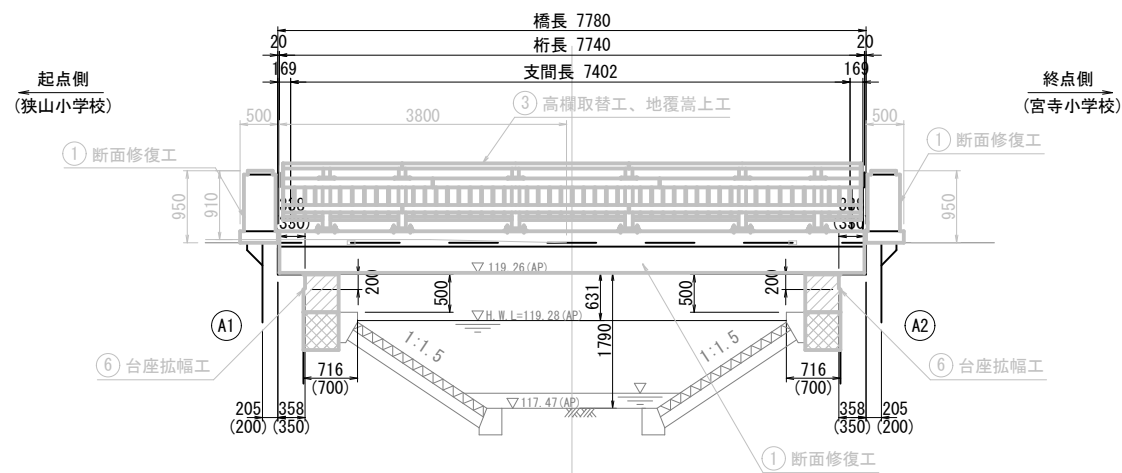
橋梁名	大橋
路線名	市道 宮寺D161号線
橋長	7.780
全幅員	5.600
有効幅員	5.000
支間長	7.402
斜角	77.82°
上部工形式	PC単純I桁
下部工形式	不明
基礎工形式	不明
適用示方書	不明
設計活荷重	不明
架設年次	昭和41年（1966年）
交差条件	一級河川 不老川

- 注) 1. 主桁は下面幅・橋長より、S107-350と推定して作図した。
2. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
3. 本図での方位はおおよその向きを示すものであり、測量結果に基づくものではない。
4. H.W.L.、河床高、桁下高は令和3年6月測量の「河川改修調査工事
（不老川定期縦断測量業務委託その3）縦断図/埼玉県総合治水事務所」を参考として作成した。

年 度	令和 8・9 年度（継続事業）				
工 事 名	大橋耐震補強・補修工事				
路線名/河川名	市道D161号線/不老川				
工事場所	入間市宮寺地内				
図 面 名	橋梁一般図				図面番号
					1 / 16
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計	入間市 都市整備部 道路整備課				

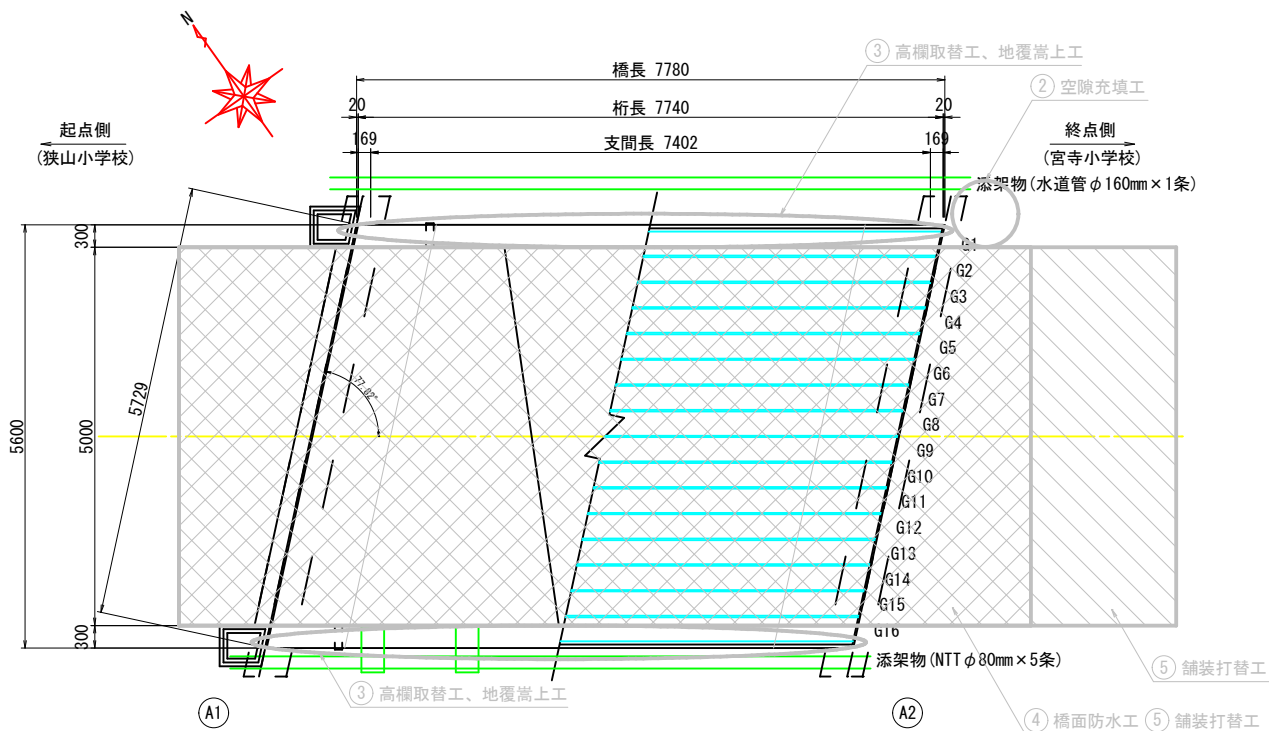
大橋 補修一般図

側面図 S=1/50



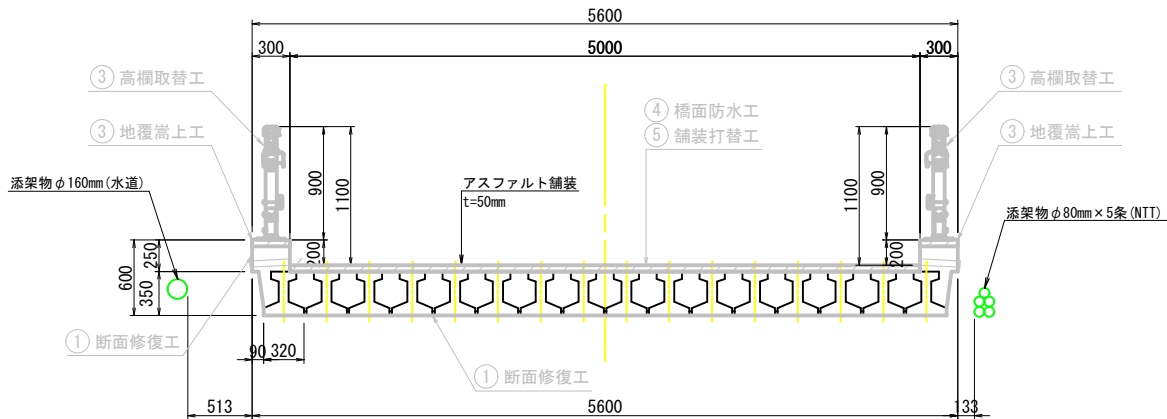
※()内の数値は橋台に対して直角の寸法を表す。
※ブロック張り護岸の断面図は想定で作図している。
※は台座拡幅工に伴う護岸裏込め材の撤去、復旧を表す。

平面図 S=1/50

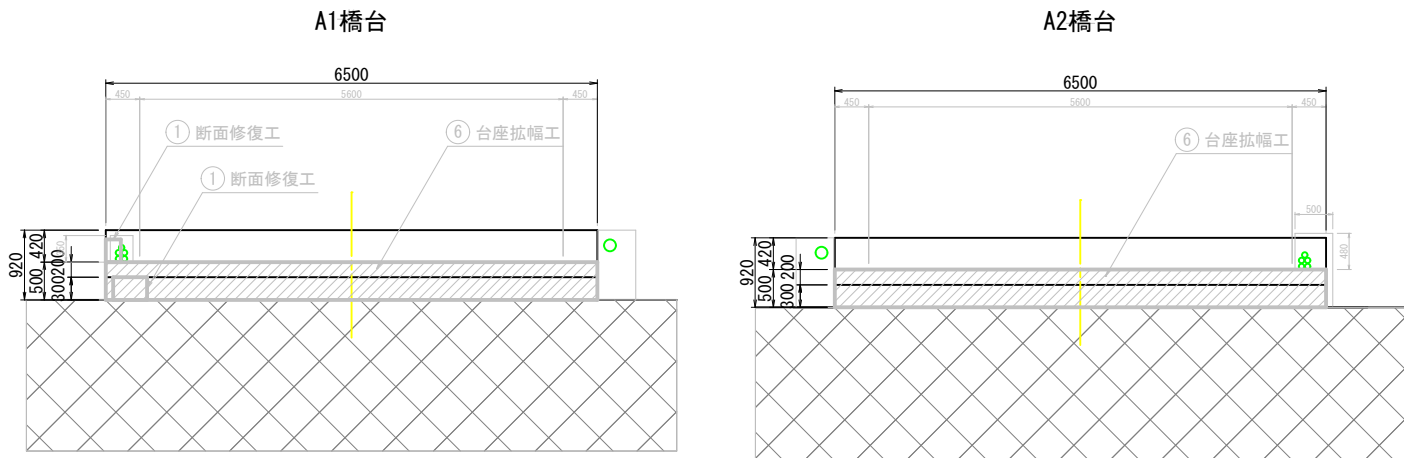


※下部工は基礎形状が不明なため、胸壁・橋座のみ破線で記載する。
※は橋面防水工、は舗装打替工の範囲を表す。

断面図 S=1/30



正面図 S=1/50



補修項目一覧表

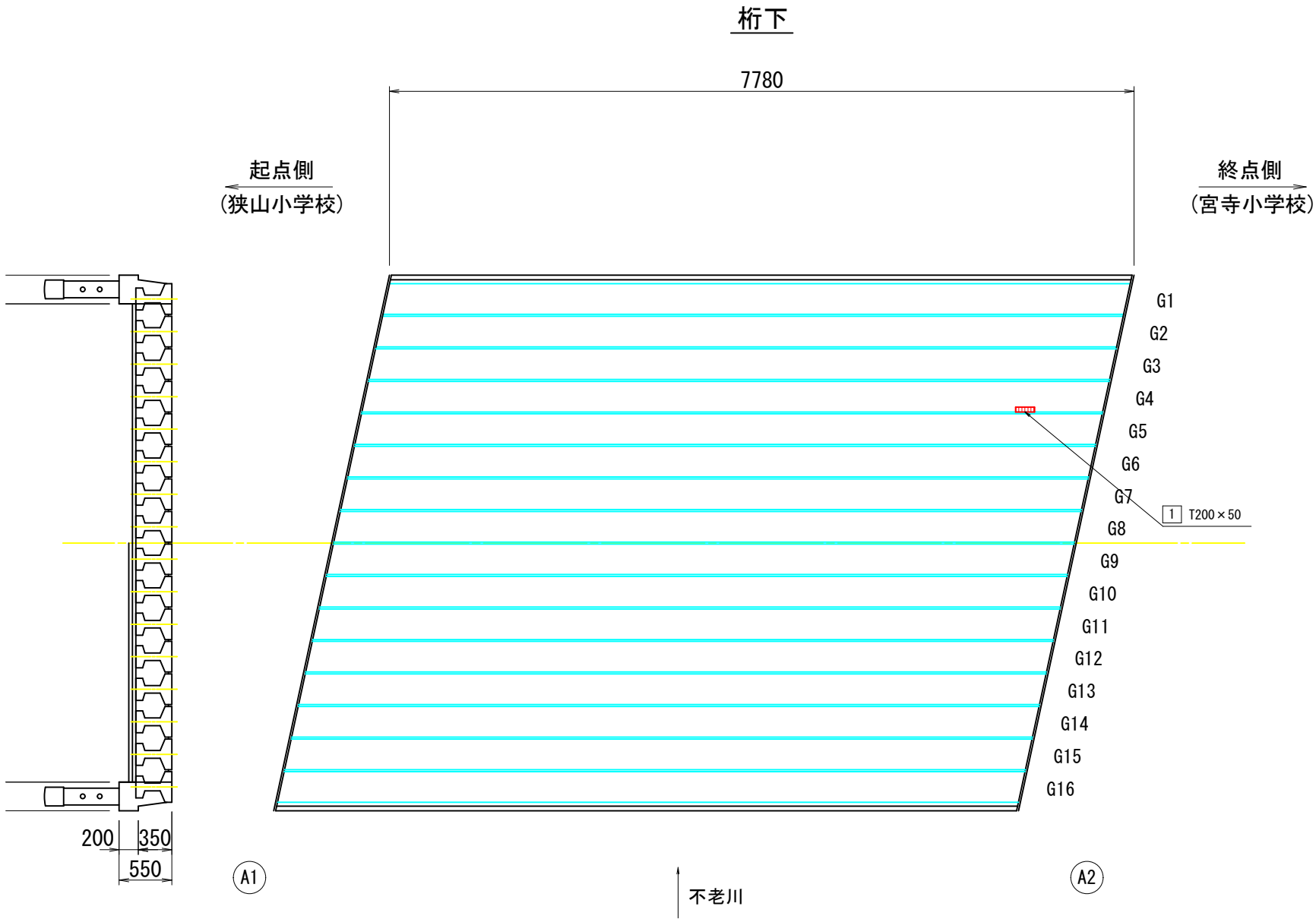
番号	施工箇所	補修対策工
①	主桁、橋台、地覆、親柱	断面修復工
②	親柱(基礎部)	空隙充填工
③	高欄、地覆	地覆嵩上工 高欄取替工
④	舗装、床版、橋台(バラベツト天端)	橋面防水工
⑤	舗装、床版、橋台(バラベツト天端)	舗装打替工
⑥	橋台	台座拡幅工

注) 1. 主桁は下面幅・橋長より、S107-350と推定して作図した。
2. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
3. 本図での方位はおおよその向きを示すものであり、測量結果に基づくものではない。
4. H.W.L.、河床高、桁下高は令和3年6月測量の「河川改修調査工事
(不老川定期縦断測量業務委託その3) 縦断図/埼玉県総合治水事務所」を参考として作成した。

年 度	令和 8・9 年度(継続事業)				
工 事 名	大橋耐震補強・補修工事				
路線名/河川名	市道D161号線/不老川				
工事場所	入間市宮寺地内				
図 面 名	補修一般図				図面番号
					2 / 16
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計	入間市 都市整備部 道路整備課				

大橋 上部工補修図 S=1/30

断面修復工



損傷の凡例		
記号	損傷の種類	表 示
T	鉄筋露出	

※単位はmmである

・ □ 数字は断面修復工箇所を表す。

断面修復工(左官工法)数量表

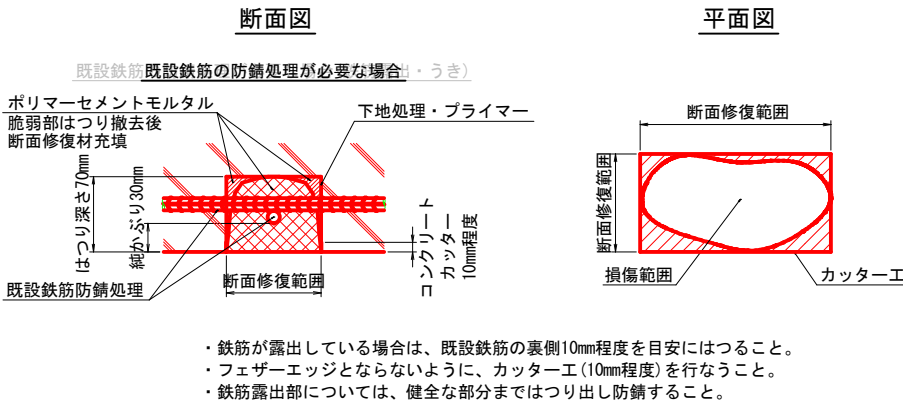
No	部位	損傷の種類	修復範囲 (m)			数量	体積 (m ³)
			長さ	幅	深さ※1		
1	主桁	鉄筋露出	0.200	0.050	0.070	1	0.001
合計							0.001

※1 断面修復の補修深さは、鉄筋純かぶり0.030m(想定)を基に0.070mと設定した。

断面修復工(左官工法)材料数量表

名称	規格	単位	数量	備考
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.001	ロス率18%含む

断面修復工(左官工法)概要図



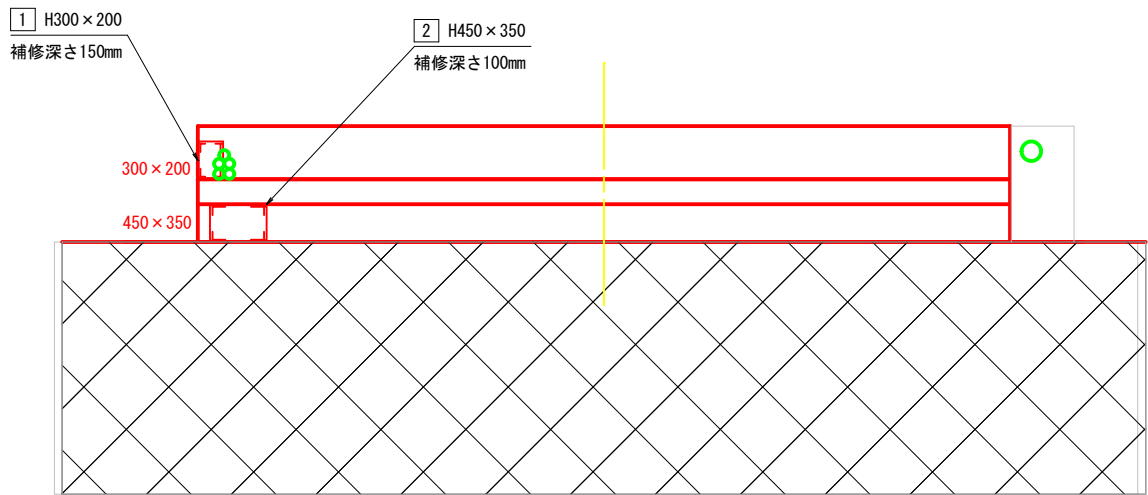
- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、
図中詳細寸法等は、現地計測のうえ決定すること。
2. 補修数量に関しては、工事の際に損傷が進行していることも推定されるため、
損傷範囲を現地計測し決定すること。
3. 鉄筋露出部については周囲の鉄筋腐食部も防錆するものとし、
断面修復深さ・範囲を決定すること。(鉄筋腐食部に防錆処理を行う)
4. 断面修復工法は左官工法とするが、状況に応じて型枠を設置すること。

年 度		令和 8・9 年度 (継続事業)			
工 事 名		大橋耐震補強・補修工事			
路線名/河川名		市道D161号線/不老川			
工事場所		入間市宮寺地内			
図 面 名		上部工補修図		図面番号	
				3 / 16	
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計		入間市 都市整備部 道路整備課			

大橋 下部工補修図 S=1/30

断面修復工

A1橋台



損傷の凡例

記号	損傷の種類	表 示
H	剥離	

※単位はmmである

- 数字は断面修復工箇所を表す。
- 補修深さは損傷深さとした

断面修復工(左官工法)数量表

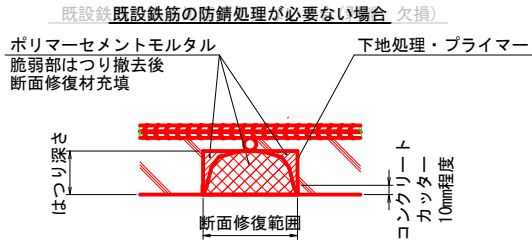
No	部位	損傷の種類	修復範囲(m)			数量	体積(m ³)
			長さ	幅	深さ		
1	A1橋台	剥離	0.300	0.200	0.150	1	0.009
2	A1橋台	剥離	0.450	0.350	0.100	1	0.016
合計							0.025

断面修復工(左官工法)材料数量表

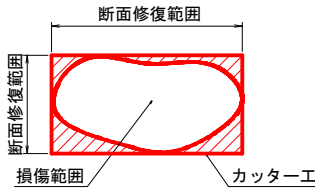
名称	規格	単位	数量	備考
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.030	ロス率18%含む

断面修復工(左官工法)概要図

断面図



平面図



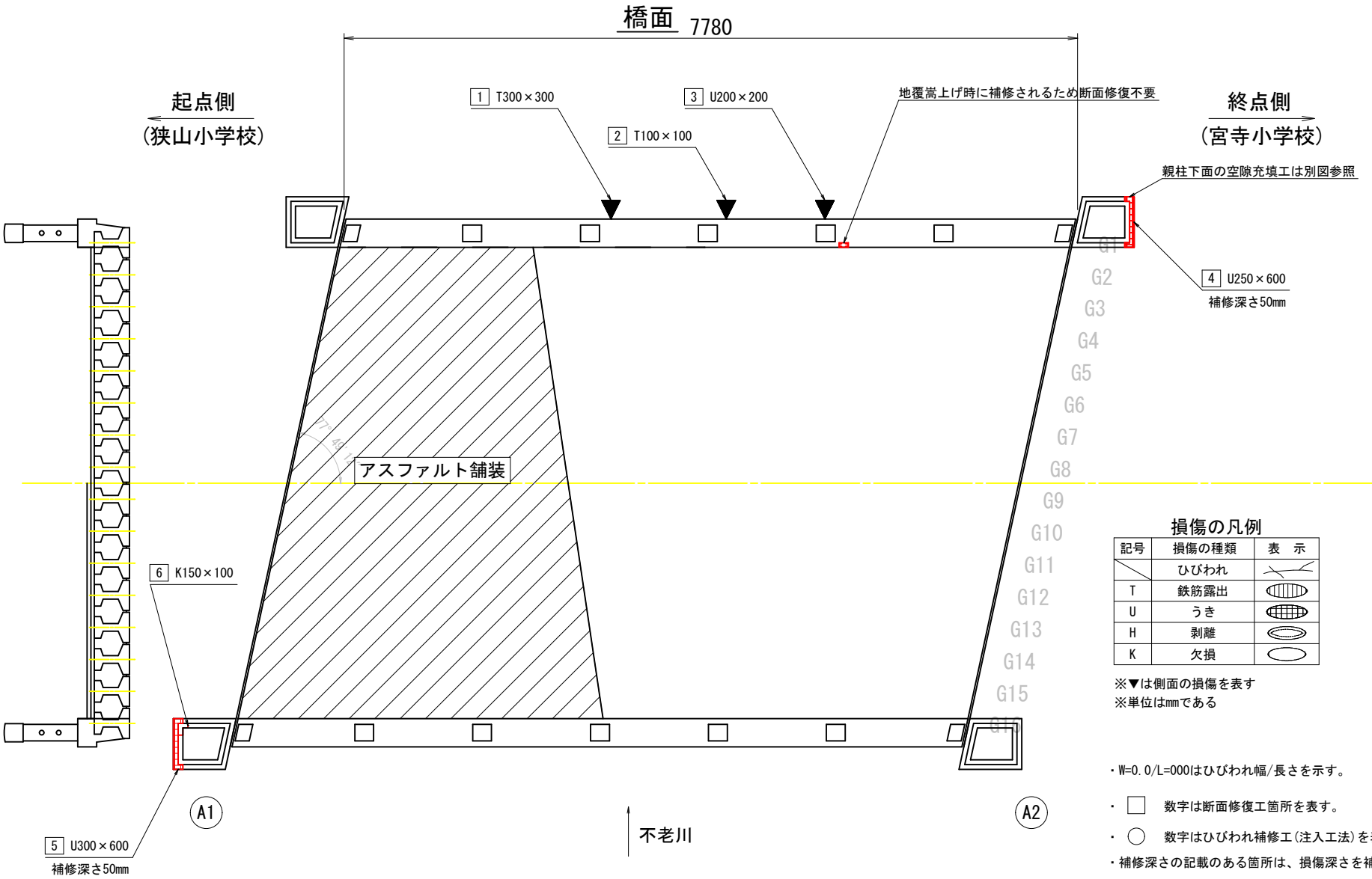
- フェザーエッジとならないように、カッター工(10mm程度)を行なうこと。

- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、
図中詳細寸法等は、現地計測のうえ決定すること。
2. 補修数量に関しては、工事の際に損傷が進行していることも推定されるため、
損傷範囲を現地計測し決定すること。
3. 鉄筋露出部については周囲の鉄筋腐食部も防錆するものとし、
断面修復深さ・範囲を決定すること。(鉄筋腐食部に防錆処理を行う)
4. 断面修復工法は左官工法とするが、状況に応じて型枠を設置すること。

年 度		令和 8・9 年度 (継続事業)			
工 事 名		大橋耐震補強・補修工事			
路線名/河川名		市道D161号線/不老川			
工事場所		入間市宮寺地内			
図 面 名		下部工補修図			図面番号 4 / 16
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計		入間市 都市整備部 道路整備課			

大橋 地覆・親柱補修図 S=1/30

断面修復工



断面修復工(左官工法)数量表

No	部位	損傷の種類	修復範囲(m)			数量	体積(m ³)
			長さ	幅	深さ※1		
1	地覆	鉄筋露出	0.300	0.300	0.070	1	0.006
2	地覆	鉄筋露出	0.100	0.100	0.070	1	0.001
3	地覆	うき	0.200	0.200	0.070	1	0.003
4	親柱	うき	0.250	0.600	0.050	1	0.008
5	親柱	うき	0.300	0.600	0.050	1	0.009
6	親柱	欠損	0.150	0.100	0.030	1	0.001
合計							0.028

※1 補修深さの記載のない損傷の補修深さは、鉄筋純かぶり0.030m(想定)を基に設定した。

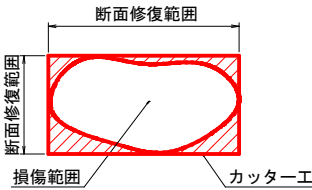
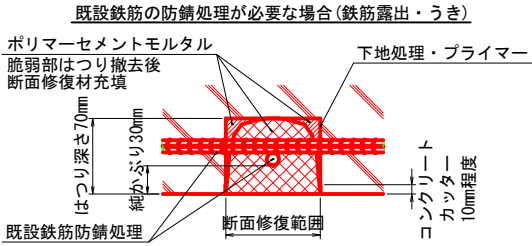
断面修復工(左官工法)材料数量表

名称	規格	単位	数量	備考
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.033	ロス率18%含む

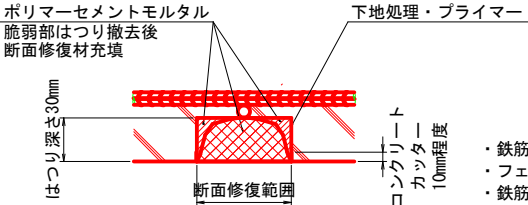
断面修復工(左官工法)概要図

断面図

平面図



既設鉄筋の防錆処理が必要ない場合(剥離、欠損) 既設鉄筋の防錆処理が必要ない場合(剥離、欠損)



- 鉄筋が露出している場合は、既設鉄筋の裏側10mm程度を目安にはつること。
- フェザーエッジとならないように、カッター工(10mm程度)を行なうこと。
- 鉄筋露出部については、健全な部分まではつり出し防錆すること。

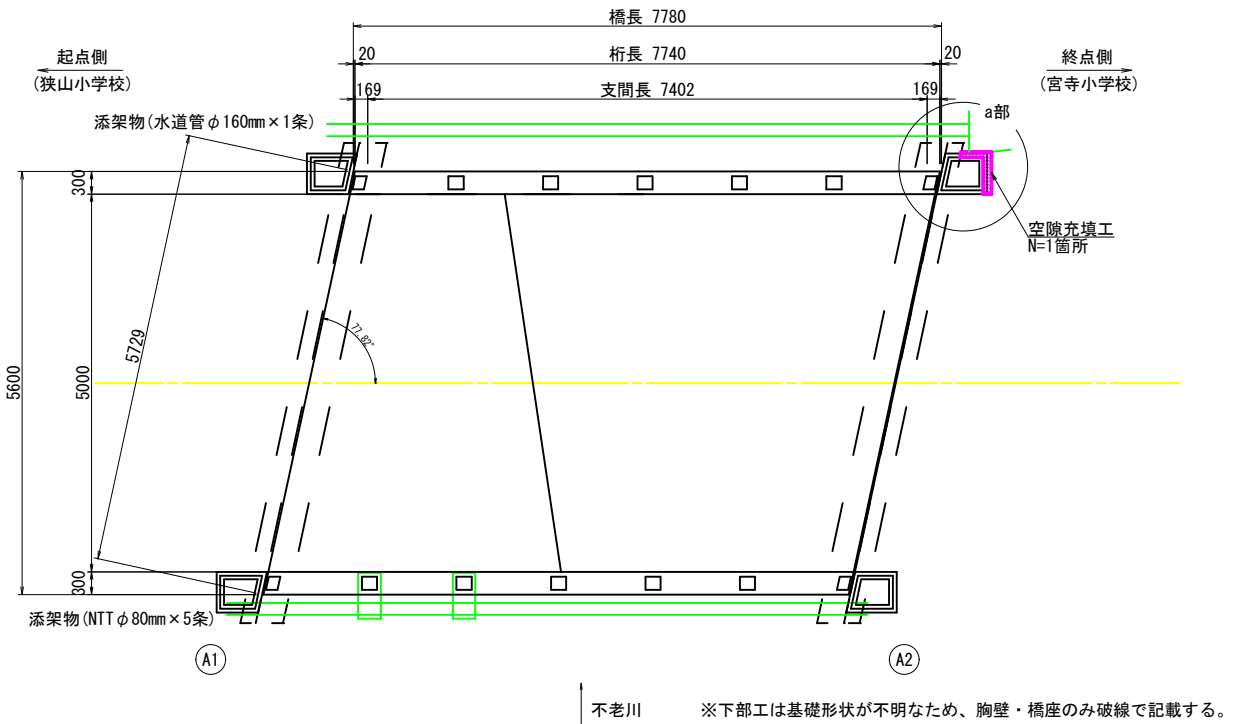
- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、
図中詳細寸法等は、現地計測のうえ決定すること。
2. 補修数量に関しては、工事の際に損傷が進行していることも推定されるため、
損傷範囲を現地計測し決定すること。
3. 鉄筋露出部については周囲の鉄筋腐食部も防錆するものとし、
断面修復深さ・範囲を決定すること。(鉄筋腐食部に防錆処理を行う)
4. 断面修復工法は左官工法とするが、状況に応じて型枠を設置すること。

年度		令和 8・9 年度 (継続事業)			
工事名		大橋耐震補強・補修工事			
路線名/河川名		市道D161号線/不老川			
工事場所		入間市宮寺地内			
図面名		地覆・親柱補修図		図面番号	
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設計		入間市 都市整備部 道路整備課			

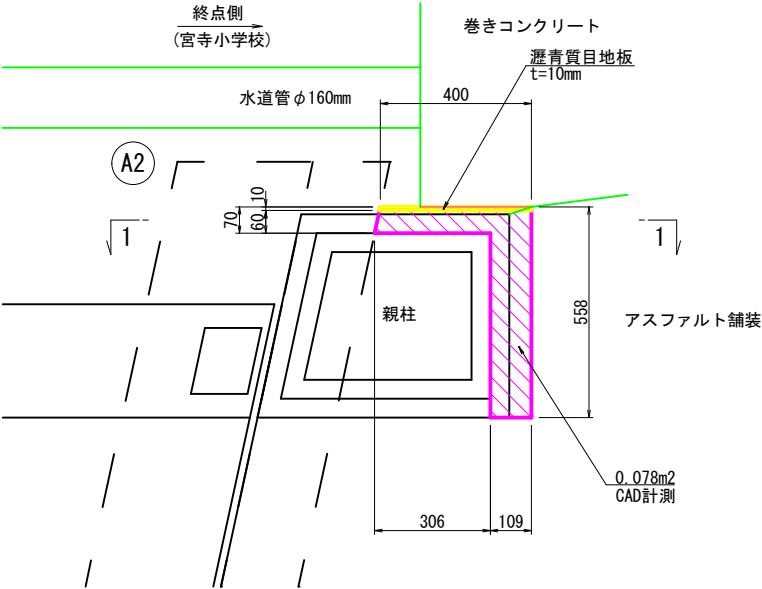
大橋 空隙充填補修図

空隙充填工

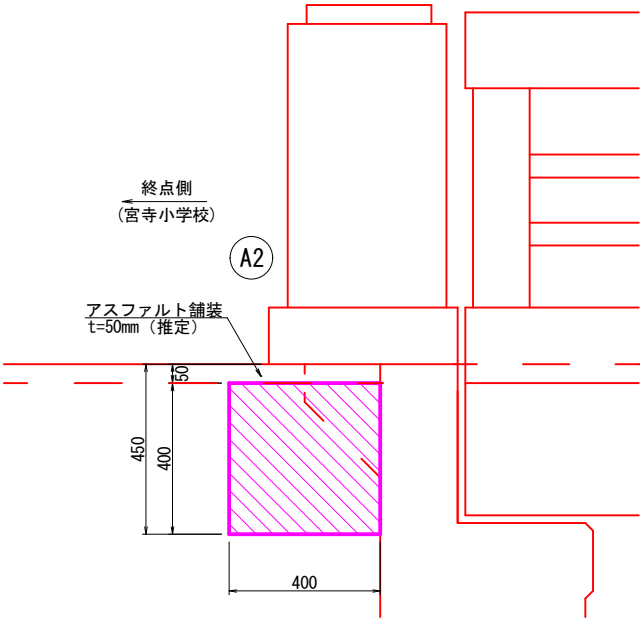
位置図 S=1/50



a部詳細図 S=1/10



1-1断面図 S=1/10



数量表

種別	規格		単位	数量	備考
モルタル練工	混合比1 : 3		m ³	0.031	
型枠工	埋設型枠	瀝青質目地板 t=10mm	m ²	0.160	

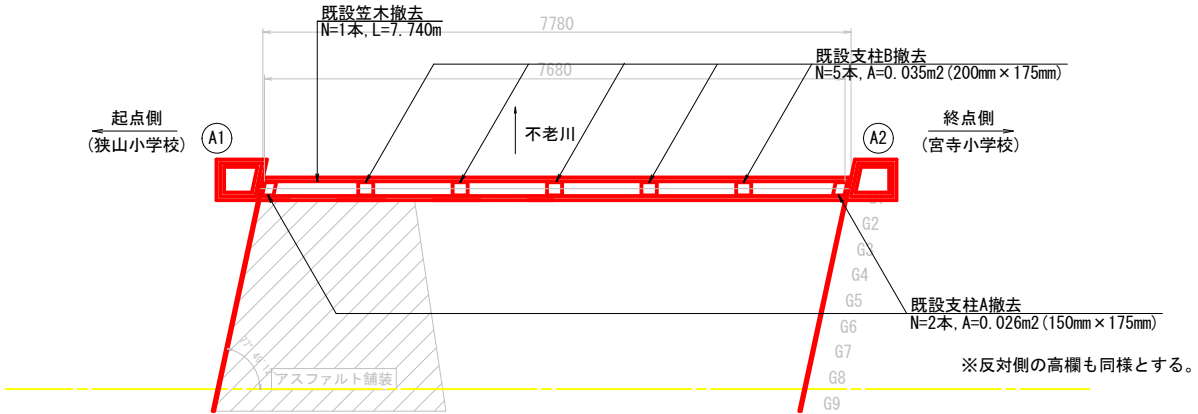
- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。作図にあたり測量は実施していない。
2. 空隙充填工は、A2橋台背面舗装を撤去した際に施工する。
3. A2橋台下流側の親柱基礎の断面修復工は、空隙充填工の施工後に行う。
4. 空隙充填工の施工量は、想定で算出している。工事で確認し必要に応じて変更すること。
5. 添架物基礎コンクリートと橋台（空隙充填部）は挙動が異なる構造物のため、一体化させると亀裂等の損傷が生じる可能性がある。
そのため、目地板により縁切りすること。

年 度		令和 8・9 年度（継続事業）			
工 事 名		大橋耐震補強・補修工事			
路線名/河川名		市道D161号線/不老川			
工事場所		入間市宮寺地内			
図 面 名		空隙充填補修図			図面番号 6 / 16
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計		入間市 都市整備部 道路整備課			

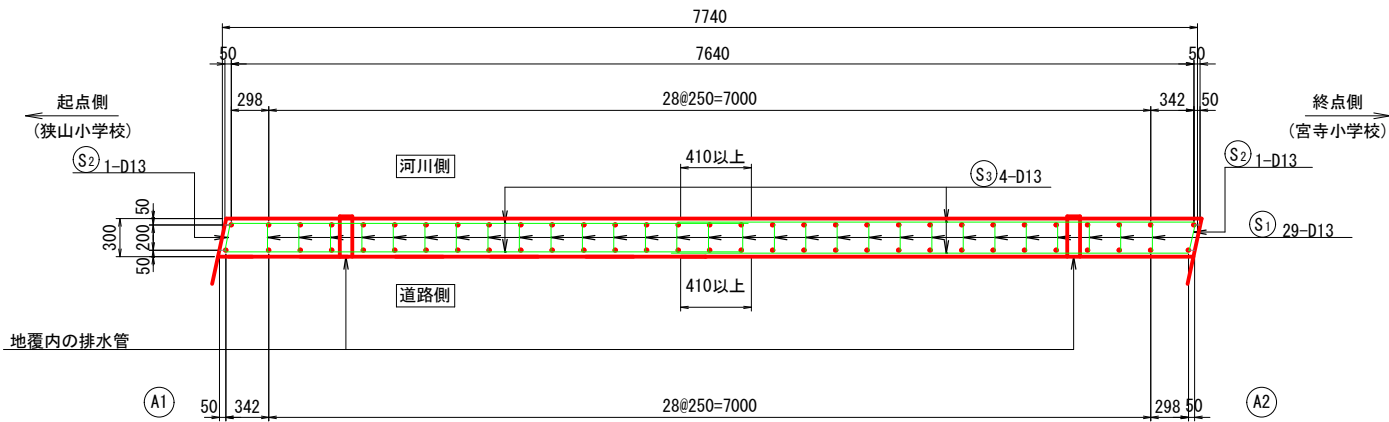
大橋 高欄補修図(1)

既設高欄撤去・地覆嵩上工

位置図 S=1/50

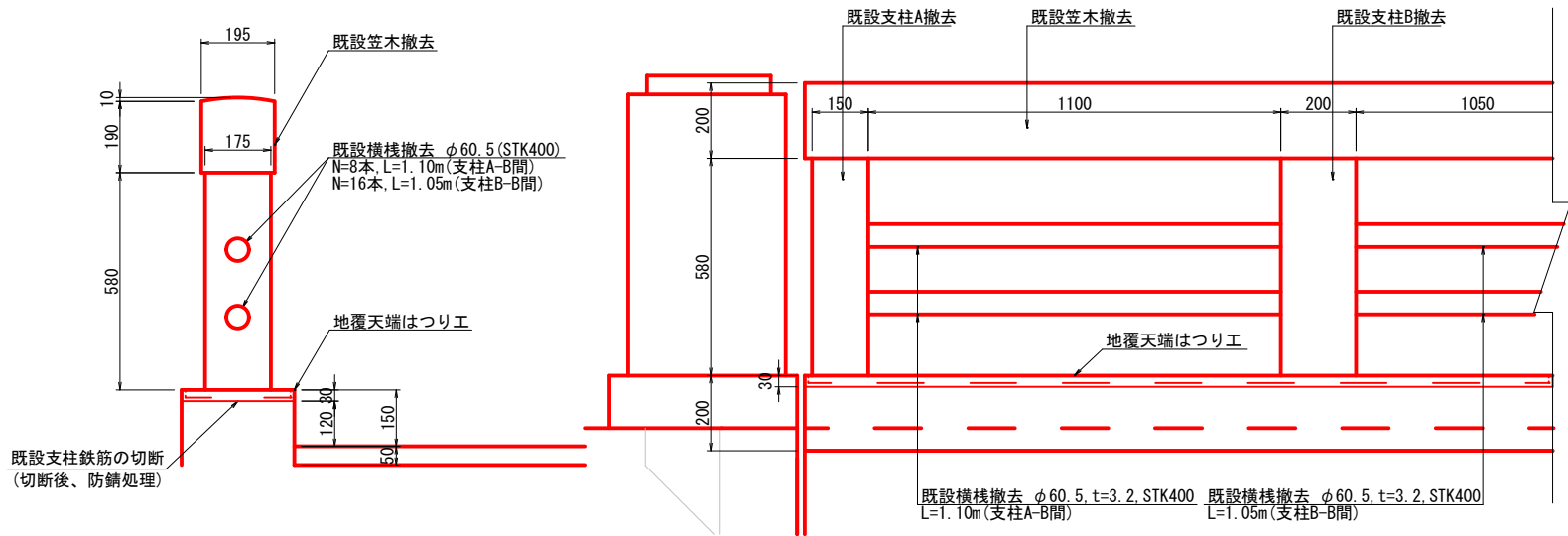


配筋図 S=1/50

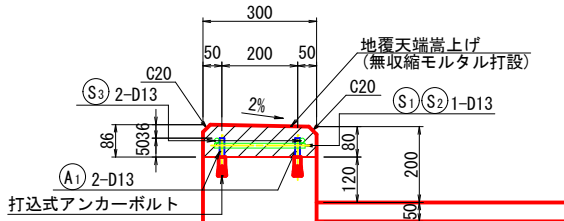


断面図 S=1/10

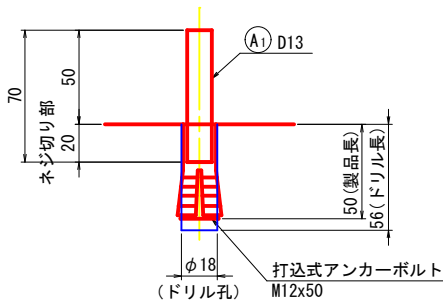
側面図 S=1/10



断面図 S=1/10



打込式アンカー S=1/2



鉄筋コンクリート撤去重量

No	部材名	断面形状 (m)	延長 (m)	単位重量 (t/m³)	数量	体積 (m³)	重量 (t)
1	既設笠木	0.200 × 0.195	7.740	2.45	2	0.604	1.479
2	既設支柱A	0.150 × 0.175	0.580	2.45	4	0.061	0.149
3	既設支柱B	0.200 × 0.175	0.580	2.45	10	0.203	0.497
合計						0.868	2.125

鋼材撤去重量

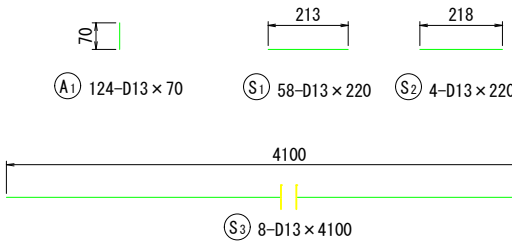
No	部材名	規格	延長 (m)	単位重量 (t/m)	数量	体積 (m³)	重量 (t)
1	既設横棧(支柱A-B間)	φ60.5, t=3.2, STK400	1.100	4.52	8	0.002	0.040
2	既設横棧(支柱B-B間)	φ60.5, t=3.2, STK400	1.050	4.52	16	0.003	0.076
合計						0.005	0.116

地覆嵩上工数量表

種別	規格	単位	数量	備考
はつり工	t=3cm	m²	4.6	
地覆Co打設	無収縮モルタル	m³	0.39	
型枠工		m²	2.8	

はつり工数量：0.300×7.740×2箇所＝4.644≒4.7m2
無収縮モルタル数量：(0.086+0.080)/2×0.300×7.740×2箇所＝0.3854≒0.39m3
型枠工数量：高さ0.086×幅(0.300+7.740)×2面×2箇所＝2.766≒2.8m2

鉄筋加工図 S=1/10



鉄筋表

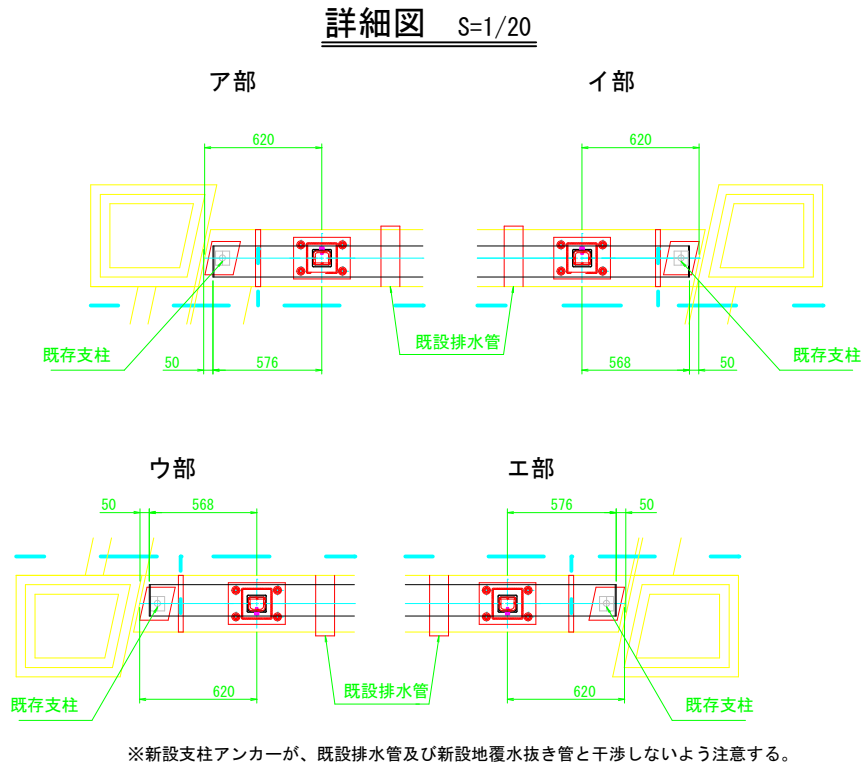
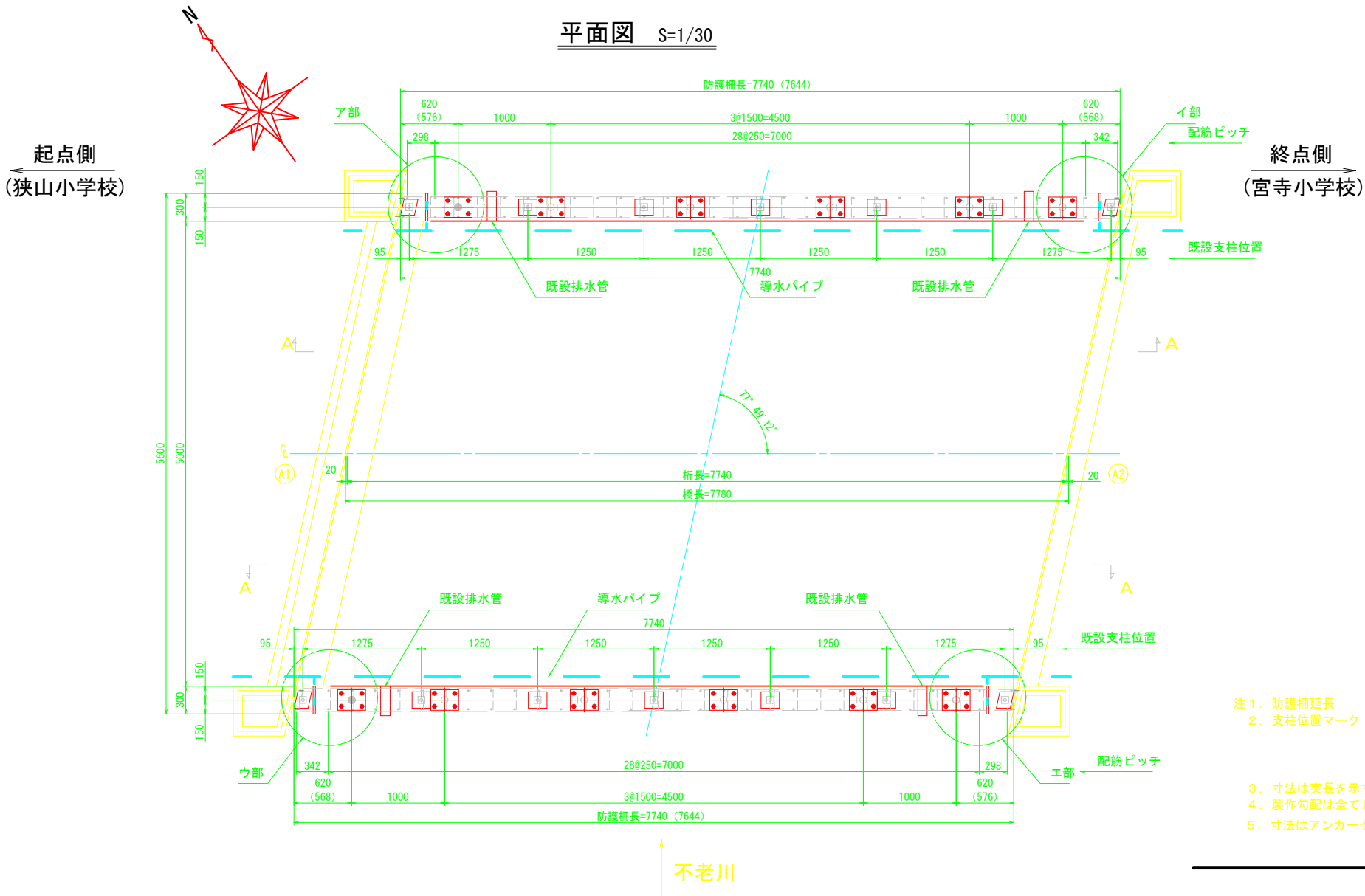
符号	径	長さ mm	本数	単位質量 kg/m	1本あたり kg/本	質量 kg	摘要
A1	D13	70	124	0.995	0.07	9	
S1	D13	220	58	0.995	0.22	13	――
S2	D13	220	4	0.995	0.22	1	――
S3	D13	4100	8	0.995	4.08	33	――
						D13 (SD345)	56 kg

- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。作図にあたり測量は実施していない。
2. 既設高欄支柱の鉄筋切断後、地覆側に残った鉄筋の切断面に対して防錆処理を行うこと。
3. 地覆は道路側に向かって2%程度の排水勾配を設けること。
4. あと施工アンカー設置について、地覆内に設置された既設排水管・既設地覆鉄筋・既設支柱鉄筋に干渉しないよう注意すること。
5. 橋面防水工の導水パイプからの水を抜くため、地覆に水抜き管を設置する。
水抜き管の詳細については、橋面防水・伸縮装置補修図を参照のこと。

年度	令和8・9年度(継続事業)				
工事名	大橋耐震補強・補修工事				
路線名/河川名	市道D161号線/不老川				
工事場所	入間市宮寺地内				
図面名	高欄補修図(1)				図面番号
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設計	入間市 都市整備部 道路整備課				

大橋 高欄補修図 (2)

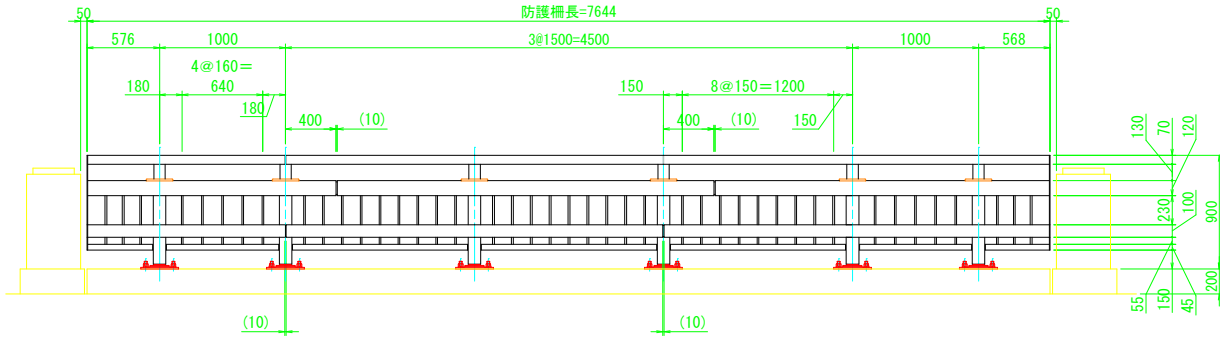
高欄配置図



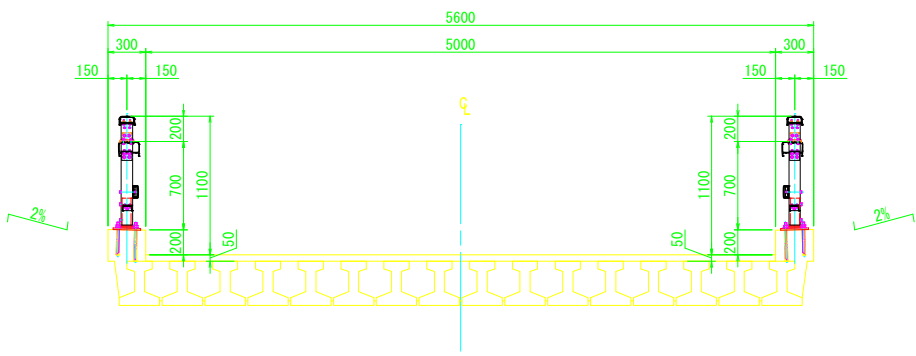
- 注 1. 防護柵延長 15m288
2. 支柱位置マーク
3. 寸法は実長を示す。
4. 製作勾配は全てレベルとする。
5. 寸法はアンカーセンターを示す。() 内寸法は主要横梁センター押えを示す。

防護柵姿図 S=1/30

A-A



断面図 S=1/30



年 度	令和 8・9 年度 (継続事業)				
工 事 名	大橋耐震補強・補修工事				
路線名/河川名	市道D161号線/不老川				
工事場所	入間市宮寺地内				
図 面 名	高欄補修図 (2)				図面番号
					8 / 16
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計	入間市 都市整備部 道路整備課				

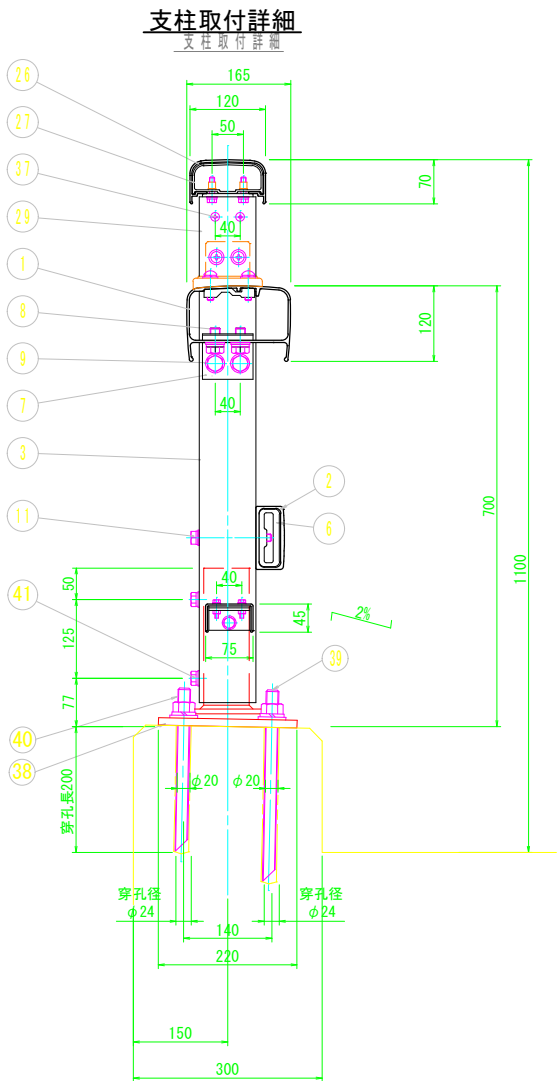
大橋 高欄補修図 (3)

高欄詳細図

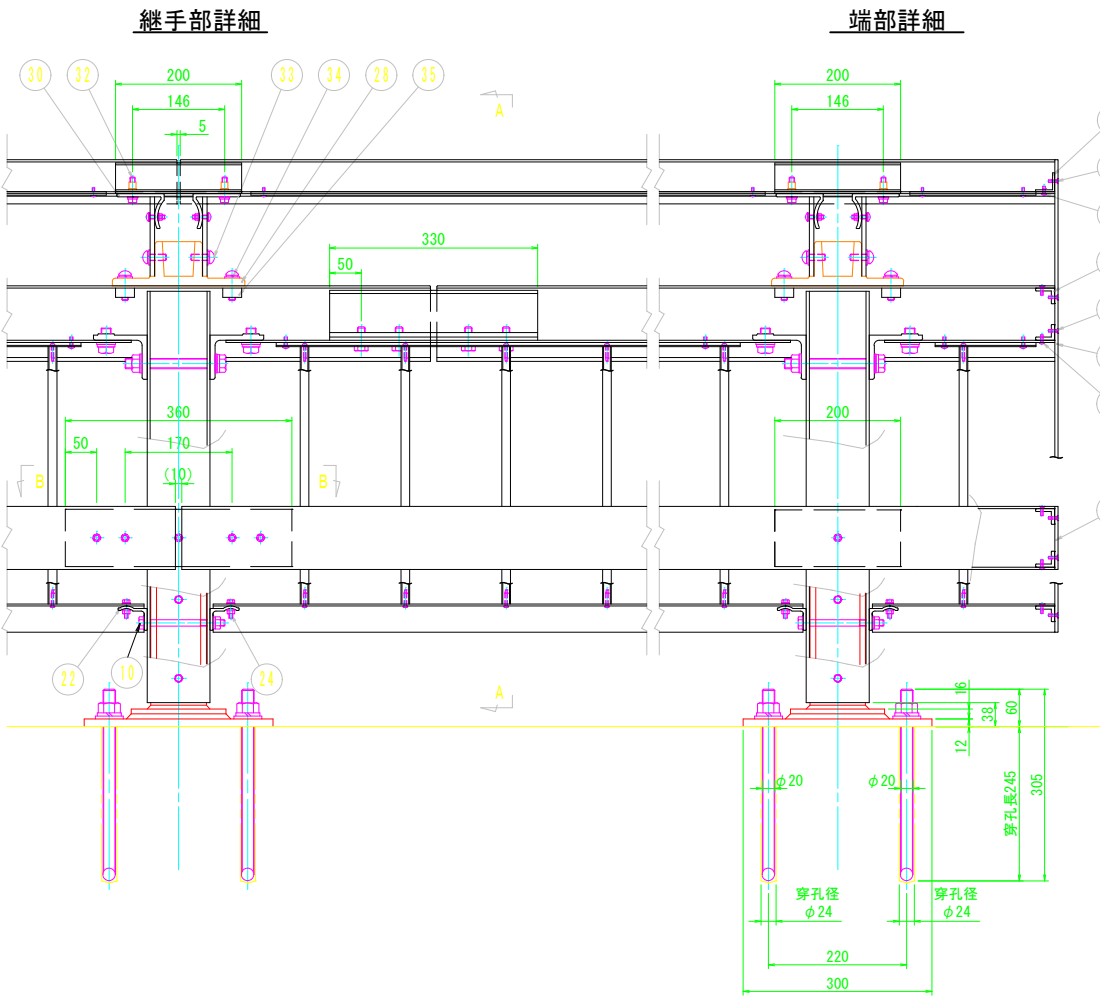
車両防護柵取付詳細図 S=1/6

種別 C種

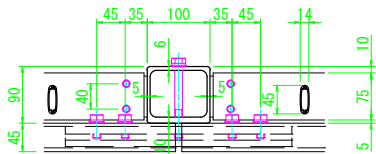
材料表



アンカー工数量 <削孔径φ24mm, L=200mm・245mm>
N = 支柱本数12本/橋 × 4箇所/本 = 48箇所/橋

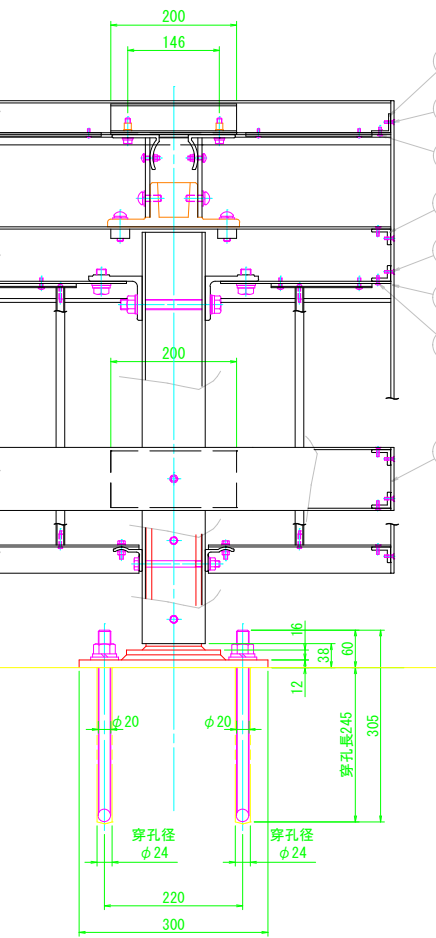


B-B断面図

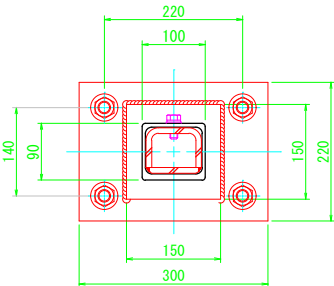


B - B 断面図

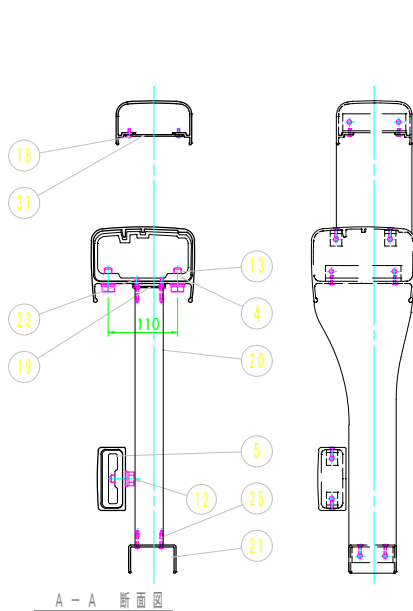
端部詳細



定着部詳細



A-A断面図



- 注 1. 本防護柵の設計仕様は「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」(社)日本アルミニウム協会(平成30年06月)による。
2. 本防護柵の表面仕様、色調は別途打合せとする。

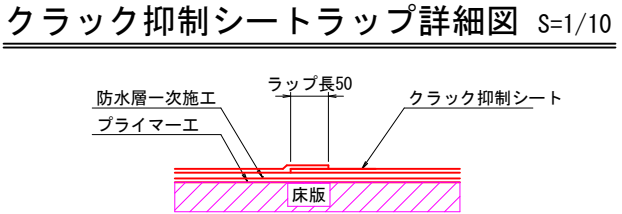
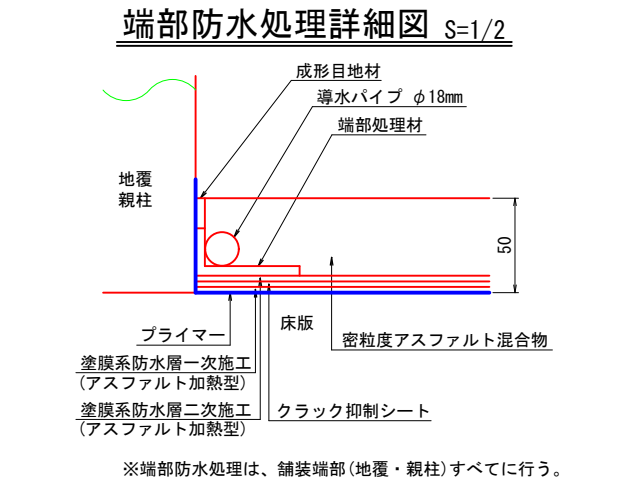
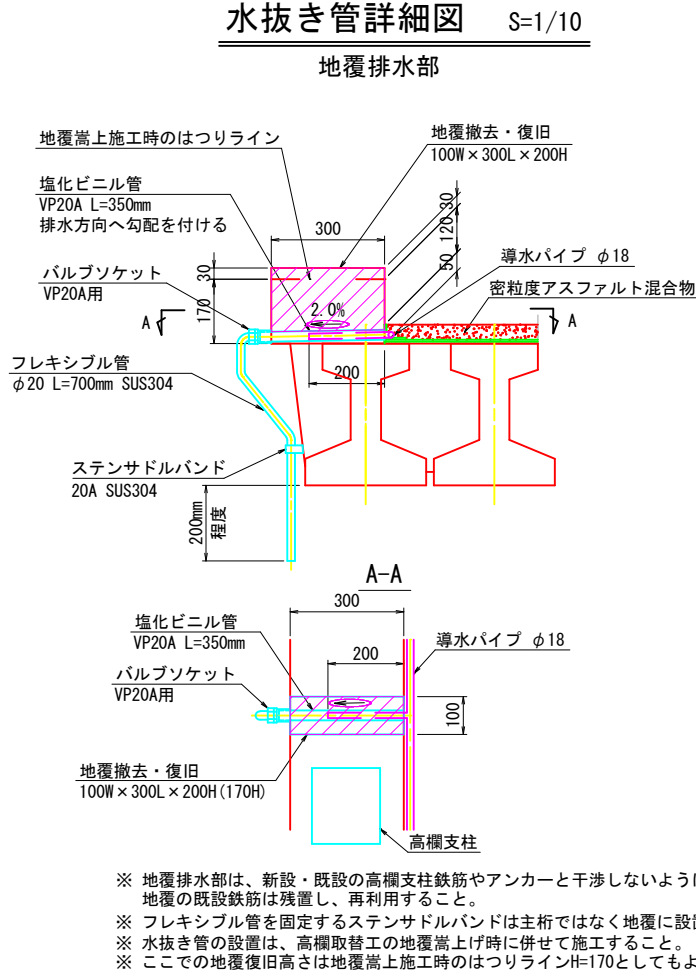
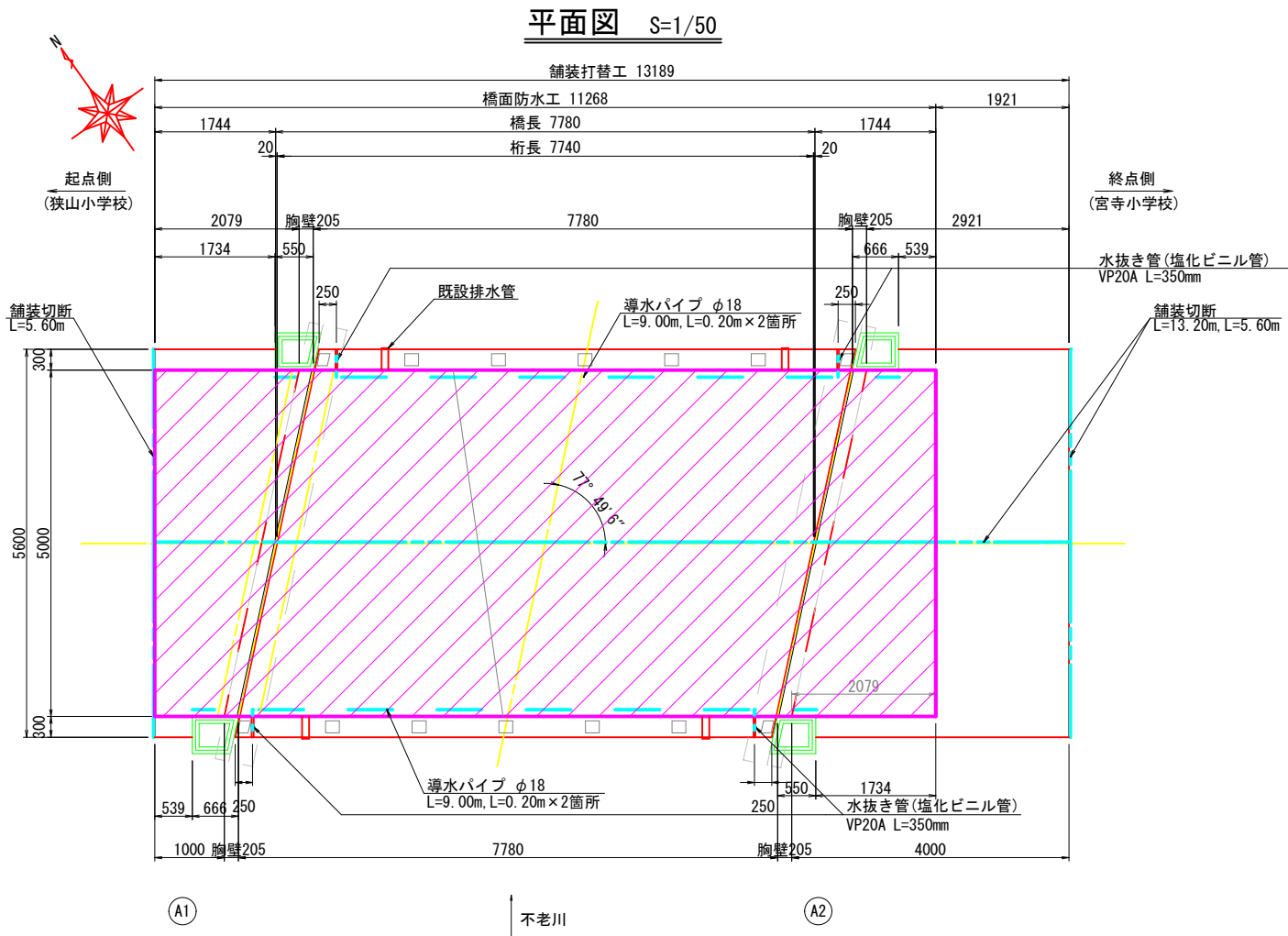
コンクリート設計基準強度 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$

品番	名称	寸 度	材 質	記 事
1	主要横梁	165×120	A6061S-T6	DE3076
2	下段横梁	100×45	A6061S-T6	DE1379
3	支柱	100×90	A6061S-T6	DE3078
4	主要横梁スリーブ	L-330	A6061S-T6	
5	下段横梁スリーブ連結用	L-360	A6061S-T6	
6	下段横梁スリーブ支柱部	L-200	A6061S-T6	
7	上段ブラケット	L-80	A6061S-T6	
8	六角ボルト	M16×30	A2-50 (SUS)	W1 SW1
9	六角ボルト	M16×150	A2-50 (SUS)	W2 SW1 N1
10	六角ボルト	M10×130	A2-50 (SUS)	W2 SW1 N1
11	六角ボルト	M12×120	A2-50 (SUS)	W1 SW1
12	六角ボルト	M12×30	A2-50 (SUS)	W1 SW1
13	六角ボルト	M12×30	A2-50 (SUS)	W1 SW1
14	エンドプレート	T-5	A1100P-H14	
15	エンドプレート	T-5	A1100P-H14	
16	取付アングル	L-30×25×5	A6063S-T5	
17	皿小ねじ	M4×15×7	SUS	
18	トラスねじ	M4×12×8	SUS	
19	バラストレール	52×6.5	A6063S-T5	
20	バラストー	14×45	A6063S-T5	
21	ボトムレール	75×45	A6063S-T5	
22	ボトムレールブラケット	46×39	A6061S-T6	
23	トラスねじ	M5×15×10	SUS	
24	十字穴付六角ボルト	M6×25	SUS	W1 SW1 品番: B70721
25	タッピンねじ (なべ)	M4×25×7	SUS	
26	笠木	120×70	A6063S-T5	DE0501
27	笠木スリーブ	L-200	A6063S-T5	
28	上部支柱受け	AC7A-F		
29	上部支柱	90×90	A6061S-T6	DE2570
30	トップアングル	75×55×5	A6061S-T6	
31	バラストレール	91×2.5	A6063S-T5	
32	六角ボルト	M8×35	SUS	W1 SW1
33	なべねじ	M10×30	SUS	W1 SW1
34	なべねじ	M10×40	SUS	W1 SW1
35	板ナット		A6061S-T6	
36	取付アングル	L-30×30×3	A6063S-T5	
37	トラスねじ	M6×25	SUS	W1 SW1 品番: B70721
38	ベースポスト	300×220	SS400溶融亜鉛メッキ	2%塩 ⑤
39	全ネジアンカーボルト	M20×305	溶融亜鉛メッキ (SS400・JIS規格)	W1 SW1 N1 溶融亜鉛メッキ (ロング)
40	全ネジアンカーボルト	M20×260	溶融亜鉛メッキ (SS400・JIS規格)	W1 SW1 N1 溶融亜鉛メッキ (標準)
41	六角ボルト	M12×30	A2-50 (SUS)	W1 SW1

年 度		令和 8・9 年度 (継続事業)			
工 事 名		大橋耐震補強・補修工事			
路線名/河川名		市道D161号線/不老川			
工事場所		入間市宮寺地内			
図 面 名		高欄補修図 (3)			図面番号
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計		入間市 都市整備部 道路整備課			

大橋 橋面防水・舗装打替補修図(1)

詳細図



橋面防水工数量表

種別		規格	単位	数量	備考
橋面防水層		補強防水工法	m ²	56.34	
導水パイプ		スプリングメッシュφ18同等品以上	m	19.7	ロス率5%
端部防水処理	成型目地材	目地テープ等	m	19.7	ロス率5%
	端部処理材	シルバーメッシュ同等品以上	m	19.7	ロス率5%
橋面排水・水抜き管設置		塩化ビニル管	m	1.40	
		フレキシブル管 SUS304 φ20	m	2.80	
		バルブソケット VP20A用	個	4	
		ステンサドルバンド 20A	個	4	プラグ、ネジ含む
		コンクリート撤去	m ³	0.02	
		型枠工	m ²	0.16	
		無収縮モルタル	m ³	0.02	

舗装打替工数量表

種別		規格	単位	数量	備考
舗装撤去	アスファルト	面積	m ²	27.52	
		体積	m ³	1.4	
	コンクリート	面積	m ²	40.75	
		体積	m ³	2.0	
	樹脂系舗装補修材	面積	m ²	23.33	
		体積	m ³	0.7	
既設目地材	面積	m ²	0.20		
	体積	m ³	0.1		
舗装切断			m	24.40	
舗装打替面積		密粒度アスファルト混合物	m ²	68.47	
不陸整正			m ²	27.52	
建設廃棄物	アスファルト殻(積込・運搬・処分)	t	4.9		
	コンクリート殻(積込・運搬・処分)	t	4.8		
シール工	シール材	m ³	0.05	ロス率20%	
	シールプライマー	缶	1	最小ロット	
	バックアップ材	m ³	0.09		
路面標示工		実線 白 15cm幅	m	26.38	

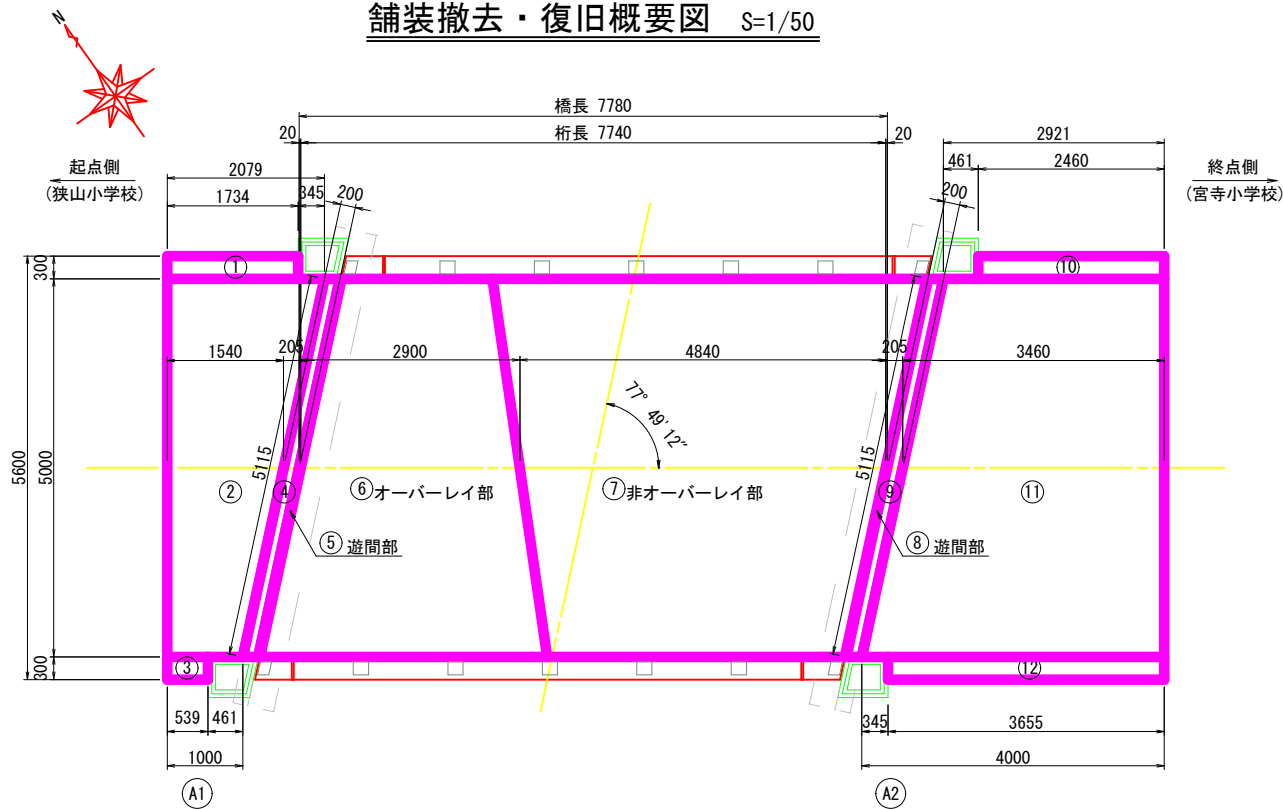
- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、
図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. 導水管は新設水抜き管(塩化ビニル管)に接続すること。
3. 施工後はアスファルトにより排水機能が阻害されていないことを確認すること。
4. 既設舗装撤去後に床版上面を点検し、コンクリート脆弱部については
監督職員と補修を検討すること。
5. 床版上面で広範囲にコンクリート補修(打設)を行った場合は、コンクリートの
含水率が10%以下を確認後、防水層を施工すること。
6. フレキシブル管の先端は、桁下から200mm程度離すこと。
7. 橋面防水工は塗膜系防水とクラック抑制シートを組み合わせた補強防水工法とし、
NEXCOグレードⅠA相当品以上とすること。
8. 遊間部の地覆にはシール工を行うこと。

年度		令和 8・9 年度 (継続事業)			
工事名		大橋耐震補強・補修工事			
路線名/河川名		市道D161号線/不老川			
工事場所		入間市宮寺地内			
図面名		橋面防水・舗装打替補修図(1)		図面番号	
				10 / 16	
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設計		入間市 都市整備部 道路整備課			

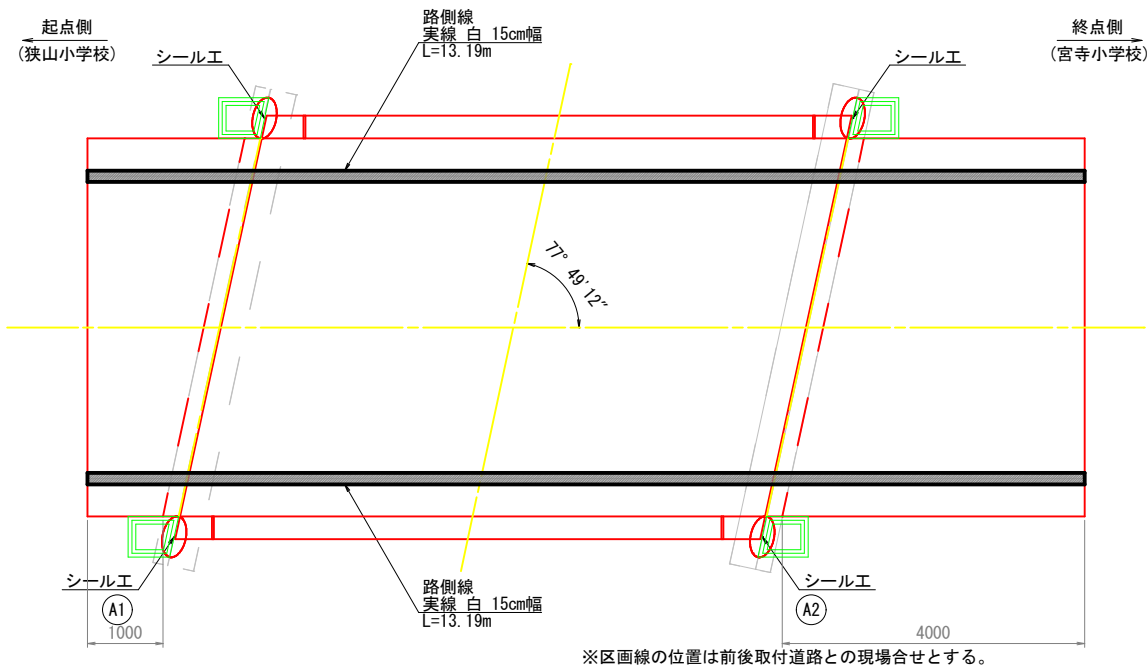
大橋 橋面防水・舗装打替補修図(2)

舗装撤去厚・復旧厚、区画線工、シール工

舗装撤去・復旧概要図 S=1/50



区画線概要図・シール工位置図 S=1/50



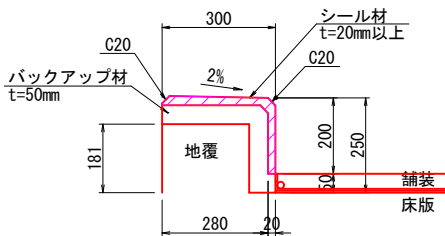
舗装撤去数量表

1橋当り					
番号	構成材料	撤去面積 (m ²)	平均厚 (m)	撤去体積 (m ³)	備考
①	アスファルト	1.734 × 0.300	0.520	0.050	0.026
②	樹脂系舗装補修材	1.540 × 5.000	7.700	0.034	0.262
③	アスファルト	1.540 × 5.000	7.700	0.050	0.385
④	樹脂系舗装補修材	0.539 × 0.300	0.162	0.050	0.008
⑤	アスファルト	0.539 × 0.300	0.162	0.050	0.008
⑥	樹脂系舗装補修材	0.200 × 5.115	1.023	0.050	0.051
⑦	コンクリート	0.200 × 5.115	1.023	0.050	0.051
⑧	樹脂系舗装補修材	0.020 × 5.115	0.102	0.050	0.005
⑨	既設目地材	0.020 × 5.115	0.102	0.050	0.005
⑩	樹脂系舗装補修材	2.900 × 5.000	14.500	0.025	0.363
⑪	コンクリート	2.900 × 5.000	14.500	0.050	0.725
⑫	コンクリート	4.840 × 5.000	24.200	0.050	1.210
⑬	既設目地材	0.020 × 5.115	0.102	0.050	0.005
⑭	コンクリート	0.200 × 5.115	1.023	0.050	0.051
⑮	アスファルト	2.460 × 0.300	0.738	0.050	0.037
⑯	アスファルト	3.460 × 5.000	17.300	0.050	0.865
⑰	アスファルト	3.655 × 0.300	1.097	0.050	0.055

舗装打替数量表

1橋当り					
番号	構成材料	撤去面積 (m ²)	平均厚 (m)	撤去体積 (m ³)	備考
①	アスファルト	1.734 × 0.300	0.520	0.050	0.026
②	アスファルト	1.540 × 5.000	7.700	0.059	0.454
③	アスファルト	0.539 × 0.300	0.162	0.050	0.008
④	アスファルト	0.200 × 5.115	1.023	0.050	0.051
⑤	アスファルト	0.020 × 5.115	0.102	0.050	0.005
⑥	アスファルト	2.900 × 5.000	14.500	0.050	0.725
⑦	アスファルト	4.840 × 5.000	24.200	0.050	1.210
⑧	アスファルト	0.020 × 5.115	0.102	0.050	0.005
⑨	アスファルト	0.200 × 5.115	1.023	0.050	0.051
⑩	アスファルト	2.460 × 0.300	0.738	0.050	0.037
⑪	アスファルト	3.460 × 5.000	17.300	0.050	0.865
⑫	アスファルト	3.655 × 0.300	1.097	0.050	0.055

シール工詳細図 S=1/10

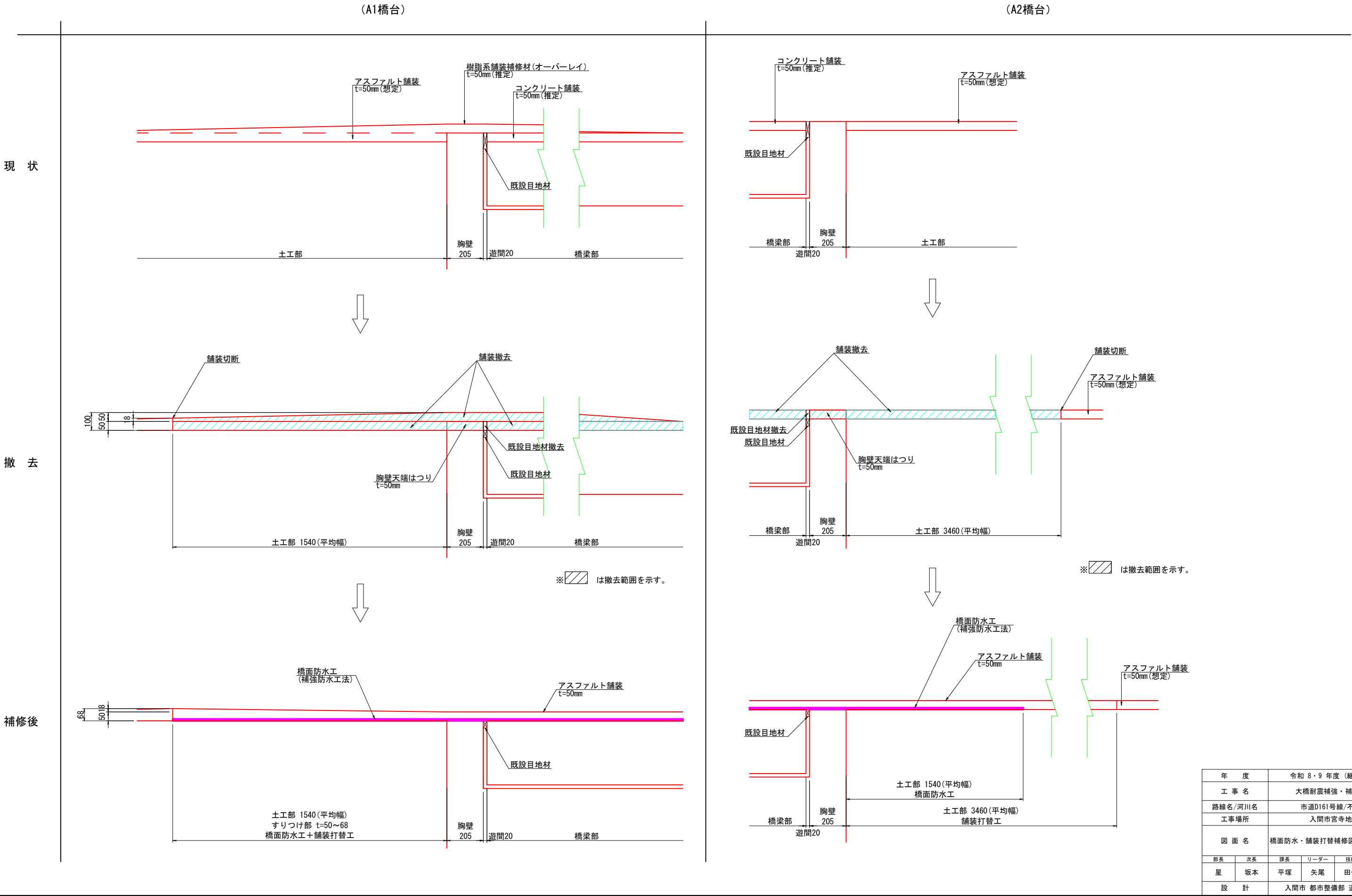


※シール材打設面(側面)はシールプライマーを塗布する。
※シール材の耐久性を確保するため、3面接着にならないよう
ポンドブレイカー等を適切に利用し2面接着とすること。

年 度	令和 8・9 年度 (継続事業)				
工 事 名	大橋耐震補強・補修工事				
路線名/河川名	市道D161号線/不老川				
工事場所	入間市宮寺地内				
図 面 名	橋面防水・舗装打替補修図(2)				図面番号 11 / 16
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計	入間市 都市整備部 道路整備課				

大橋 橋面防水・舗装打替補修図(3)

ステップ図 S=1/10

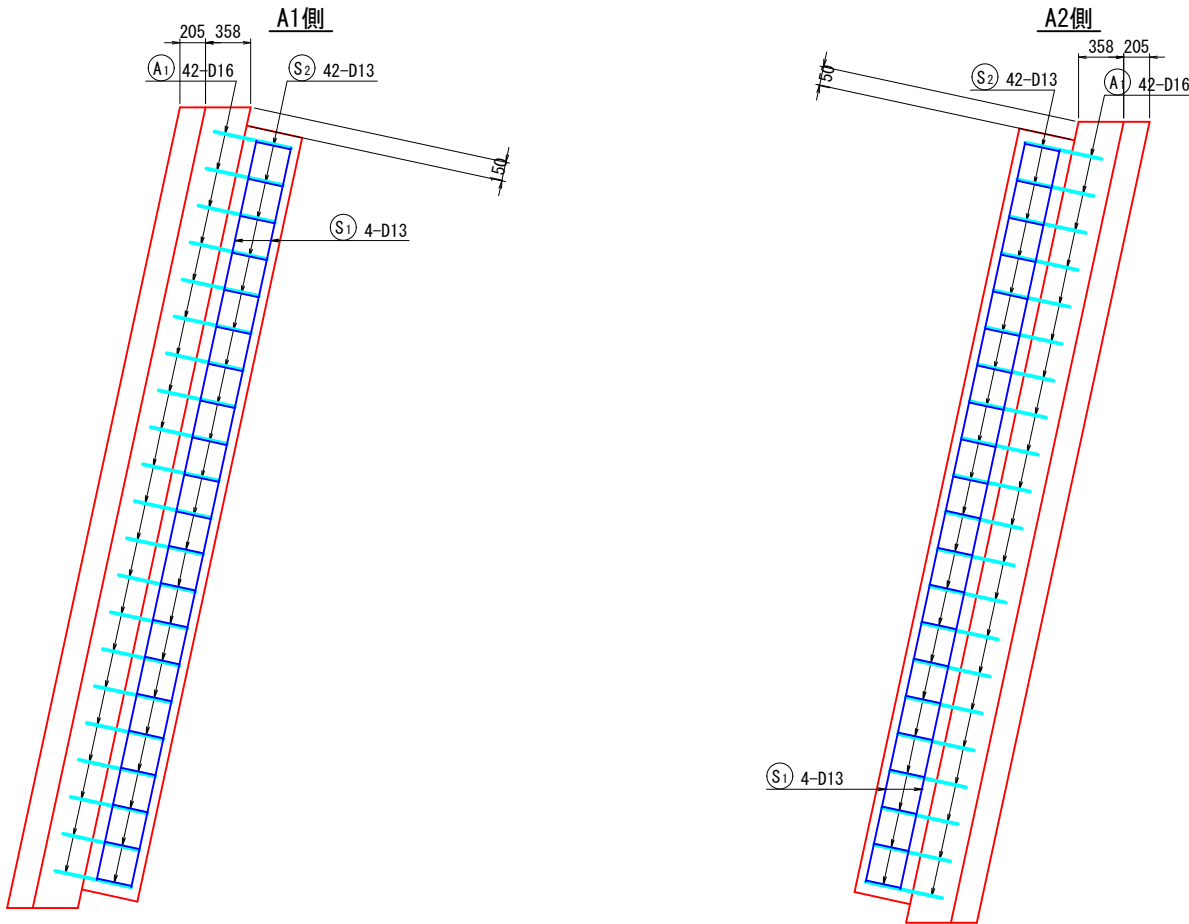
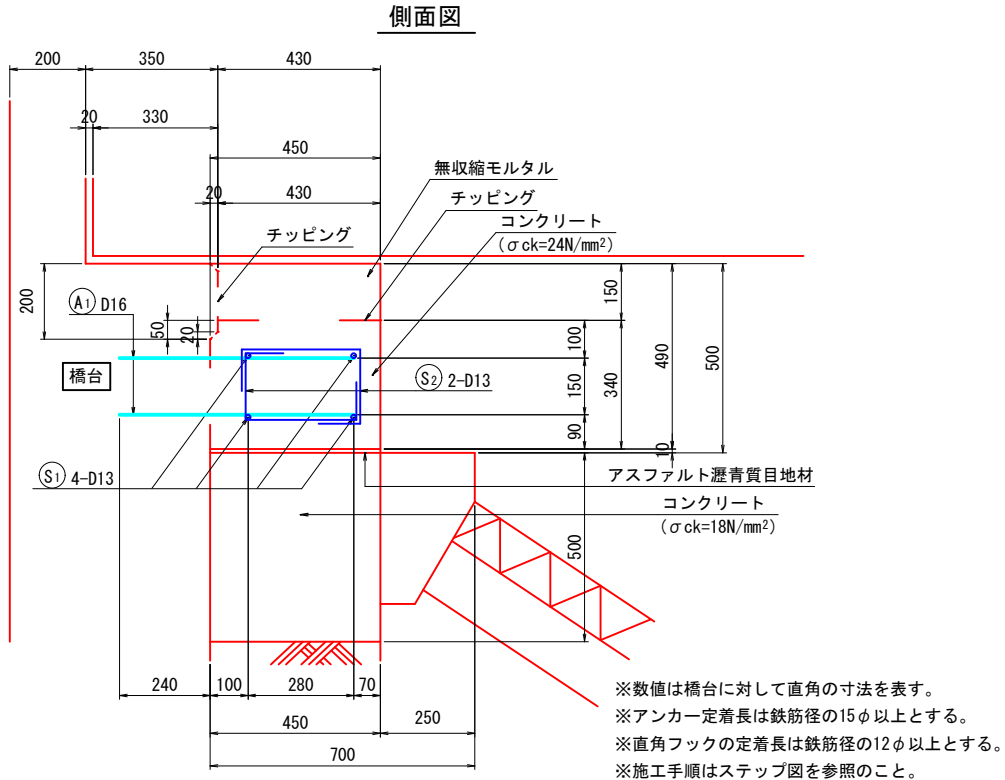


年 度		令和 8・9 年度 (継続事業)			
工 事 名		大橋耐震補強・補修工事			
路線名/河川名		市道D161号線/不老川			
工事場所		入間市宮寺地内			
図 面 名		橋面防水・舗装打替補修図(3)		図面番号 12 / 16	
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計		入間市 都市整備部 道路整備課			

大橋 台座拡幅工図(1)

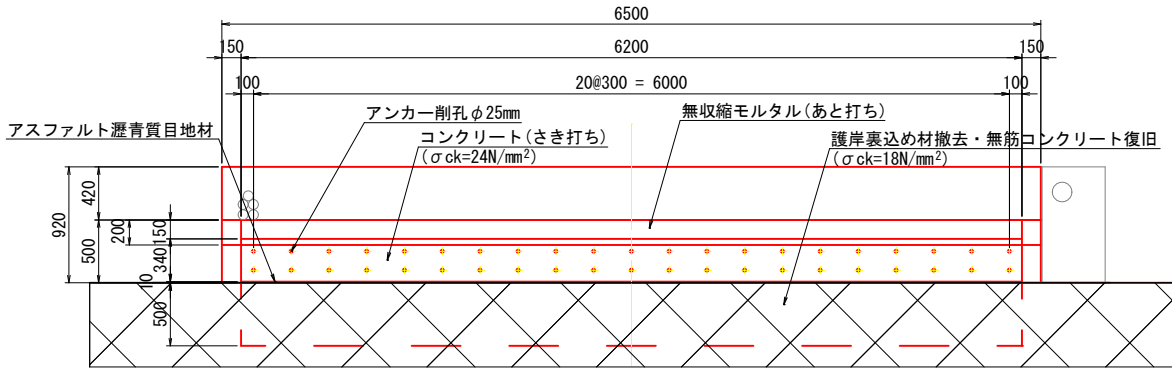
台座拡幅配筋図 S=1:30

台座拡幅詳細図 S=1:10

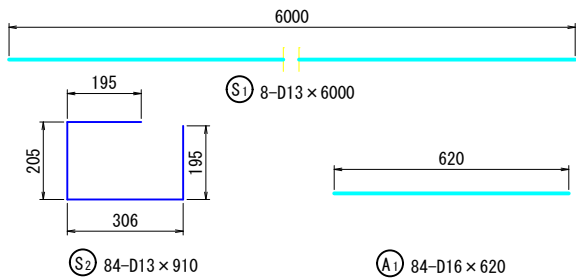


下部工正面図 S=1:30

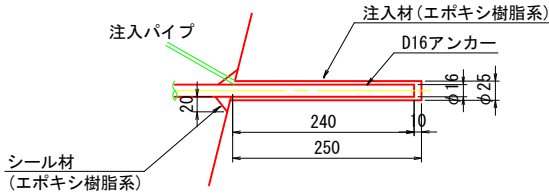
A1側(A2側も同様)



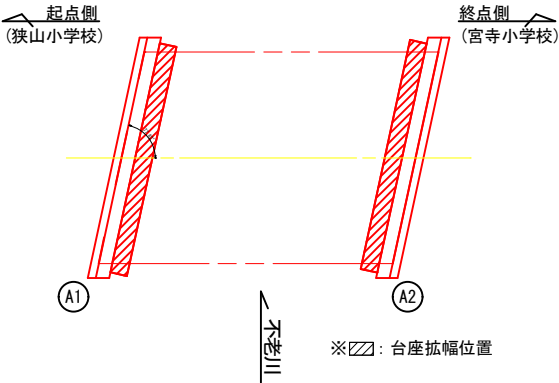
鉄筋加工図 S=1:10



シーリング材取付詳細図 S=1:5



縁端拡幅位置図



鉄筋表

(1橋当たり)

符号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	摘要
S ₁	D13	6000	8	0.995	5.97	48	—
S ₂	D13	910	84	0.995	0.91	77	┌
A ₁	D16	620	84	1.560	0.97	82	—
D16 (SD345)						82 kg	
D13 (SD345)						125 kg	
合計						207 kg	

護岸天端の撤去・復旧

(1橋当たり)

種別	規格	単位	数量
裏込め材撤去工		m ³	2.79
コンクリート体積	σck=18N/mm ²	m ³	2.79

台座拡幅工数量表

(1橋当たり)

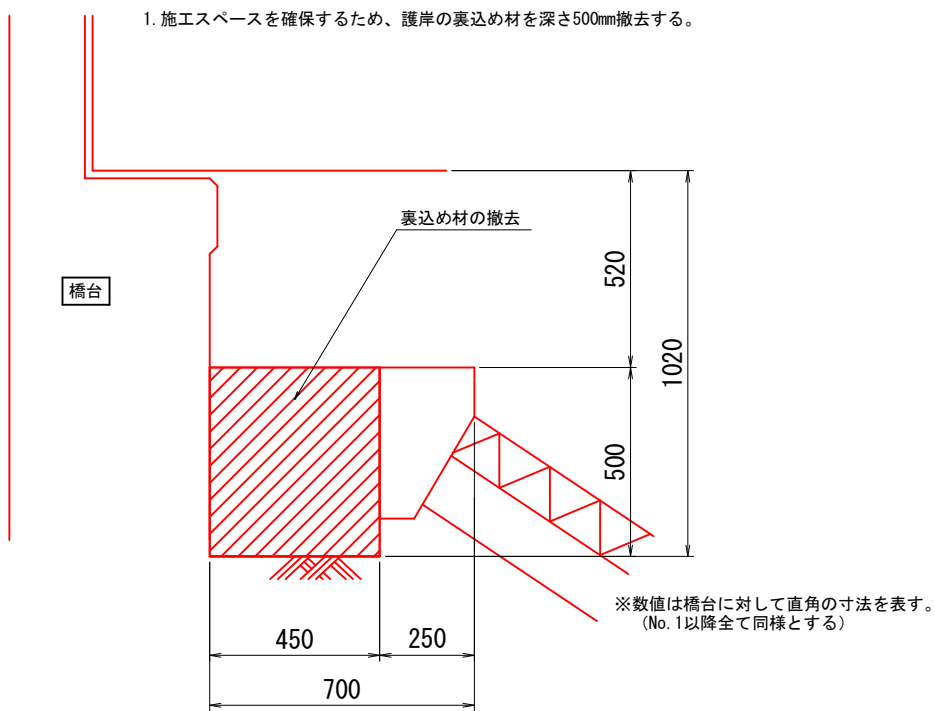
種別	規格	単位	数量
チップング工		m ²	11.4
コンクリート体積	σck=24N/mm ²	m ³	1.88
無収縮モルタル体積		m ³	0.80
型枠面積		m ²	7.1
埋設目地	アスファルト瀝青質目地材, t=10mm	m ²	5.6
鉄筋重量	D16, D13	kg	207
アンカー工	φ25mm, L=250mm	本	84
注入材	エポキシ樹脂系	kg	8.770
シーリング材	エポキシ樹脂系	kg	2.736

- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
2. 図中詳細寸法等は、現地計測のうえ決定すること。
3. 特記なき鉄筋はすべてSD345とする。
4. コンクリートはポンプ車での打設を想定しているが、
車両は橋面又は近接する施工ヤードに駐車可能なため
圧送距離は30m未満と想定している。

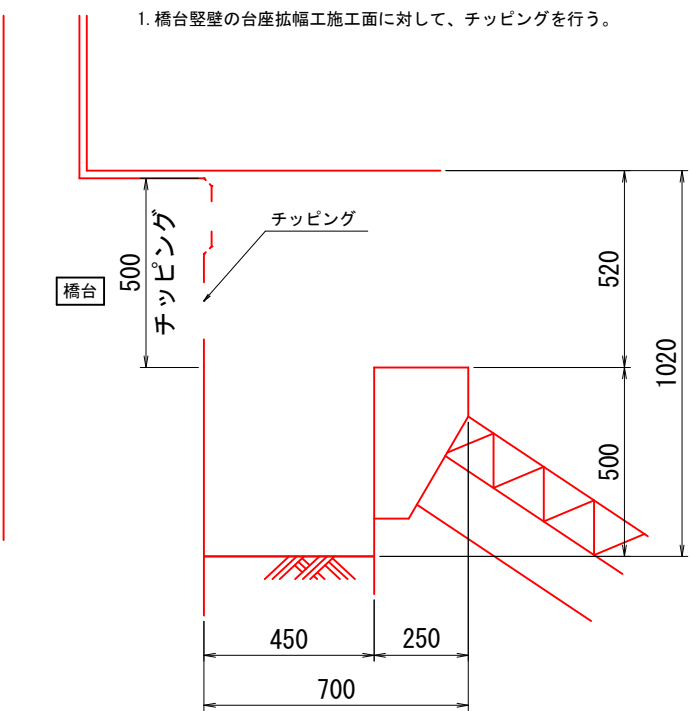
年度	令和 8・9 年度 (継続事業)				
工事名	大橋耐震補強・補修工事				
路線名/河川名	市道D161号線/不老川				
工事場所	入間市宮寺地内				
図面名	台座拡幅工図(1)				図面番号
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設計	入間市 都市整備部 道路整備課				

大橋 台座拡幅工図(2) S=NonScale
施工ステップ図(1)

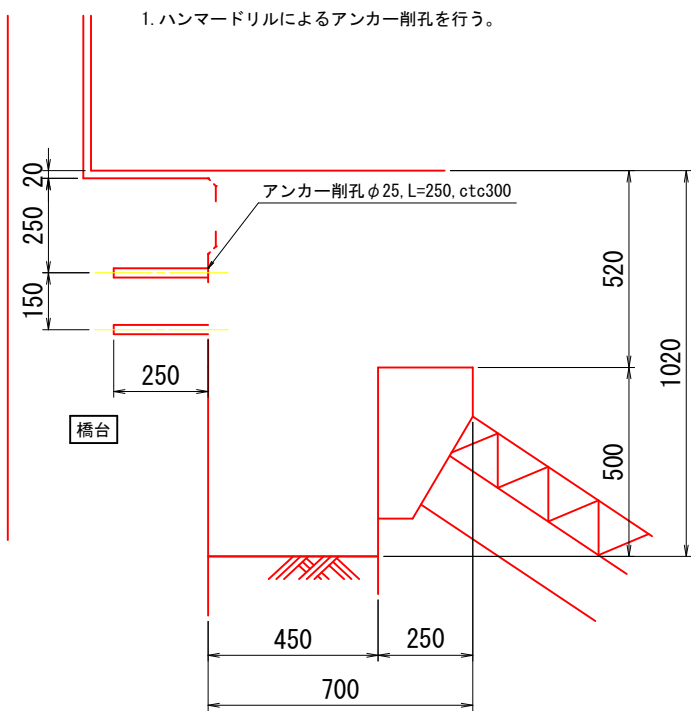
No. 1 裏込め材の撤去



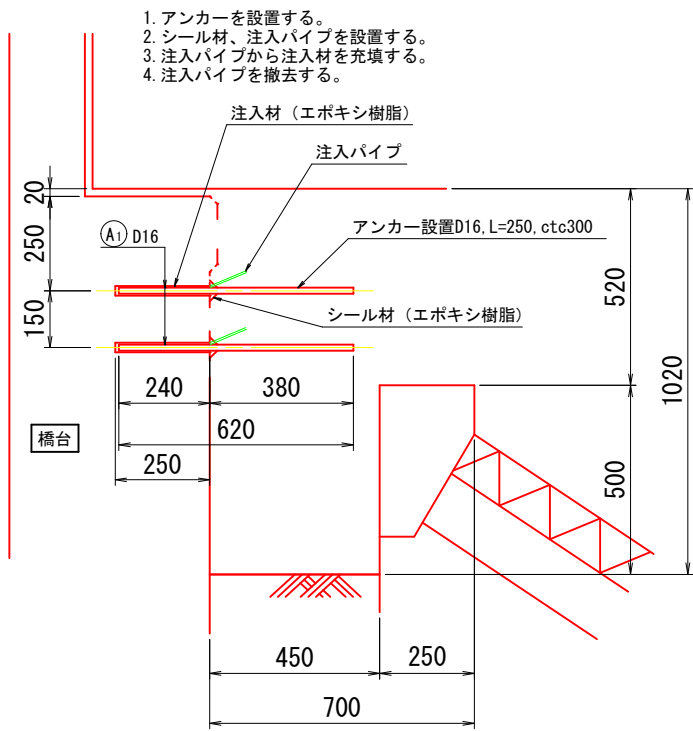
No. 2 チッピング1



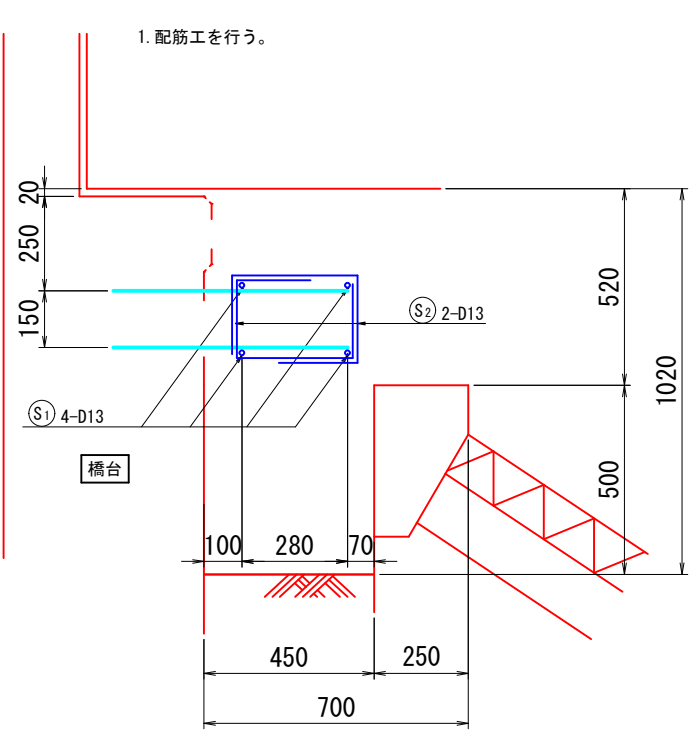
No. 3 アンカー削孔



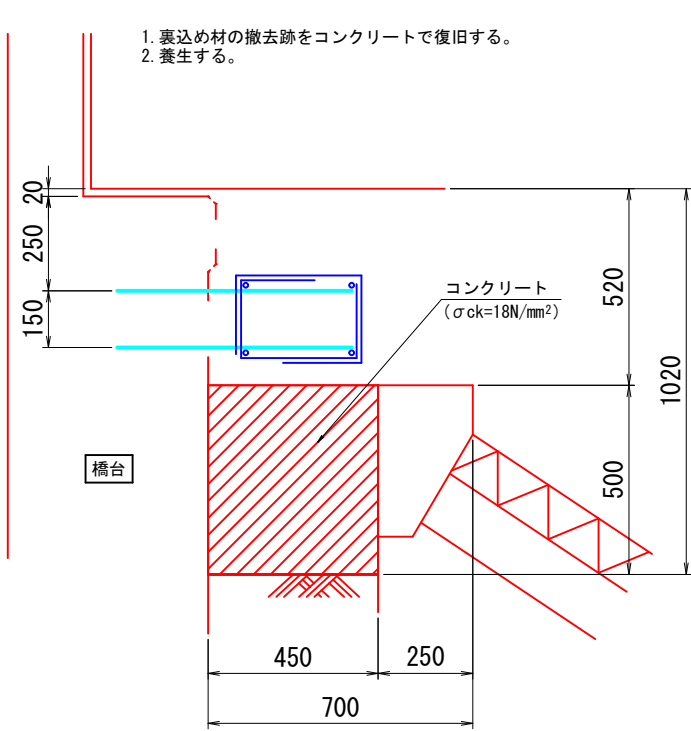
No. 4 アンカー設置



No. 5 配筋工



No. 6 護岸復旧工

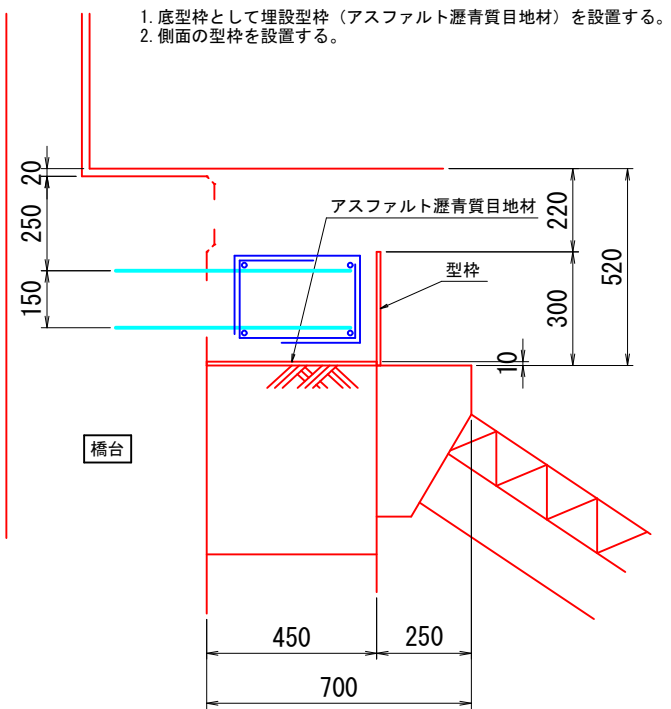


注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
2. 図中詳細寸法等は、現地計測のうえ決定すること。
3. 特記なき鉄筋はすべてSD345とする。
4. 裏込め材の撤去量については、最小限にとどめ、作業には細心の注意を払うこと。
なお、護岸への影響が確認された場合、河川管理者の指示を仰ぐこと。

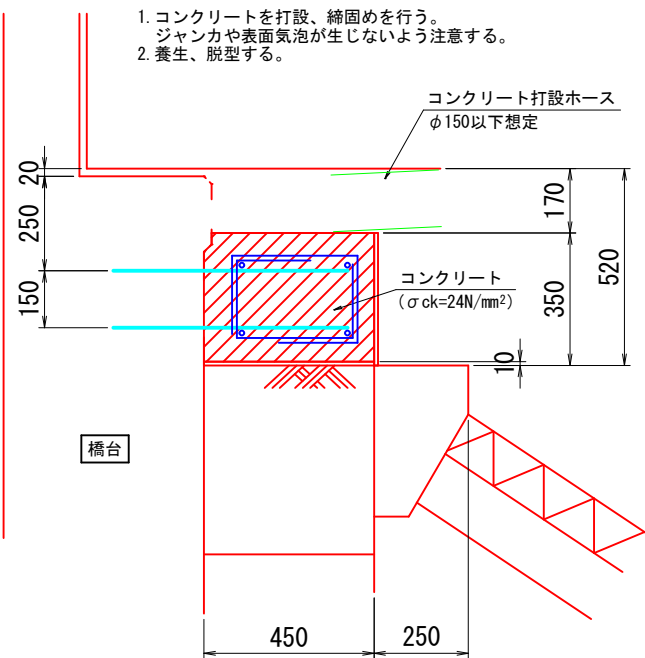
年 度	令和 8・9 年度 (継続事業)				
工 事 名	大橋耐震補強・補修工事				
路線名/河川名	市道D161号線/不老川				
工事場所	入間市宮寺地内				
図 面 名	台座拡幅工図(2)				図面番号
					14 / 16
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計	入間市 都市整備部 道路整備課				

大橋 台座拡幅工図(3) S=NonScale
施工ステップ図(2)

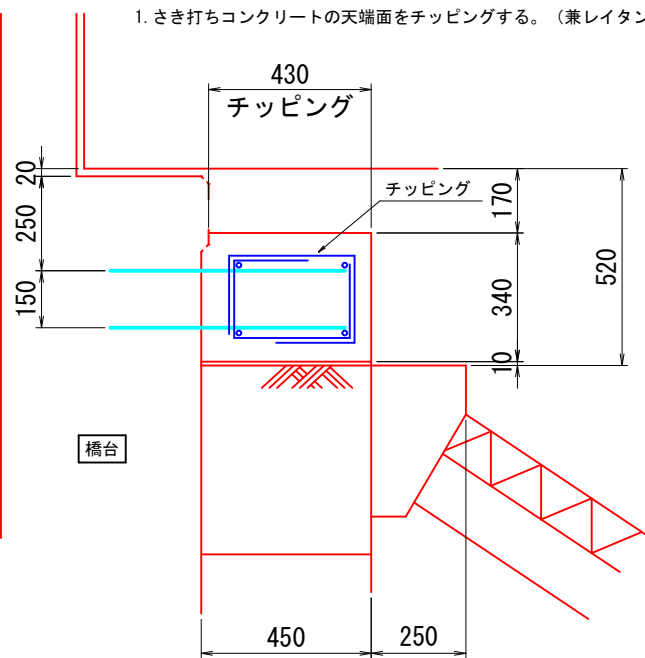
No. 7 型枠工



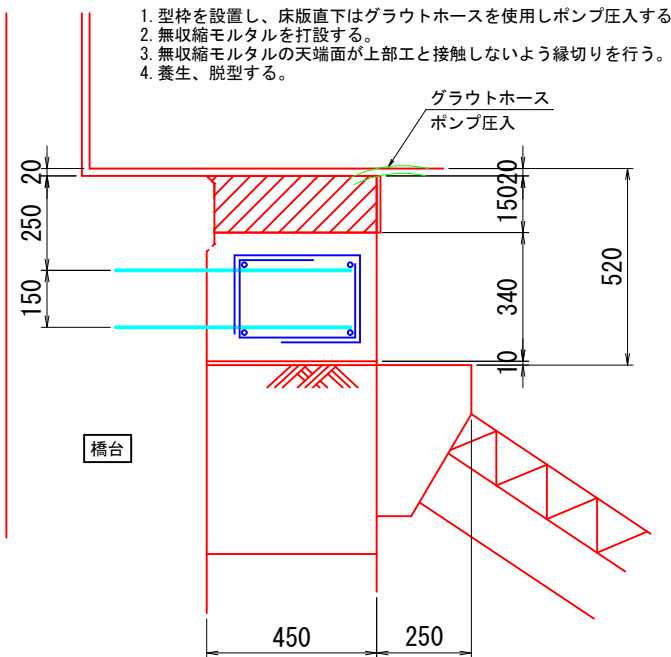
No. 8 コンクリート工



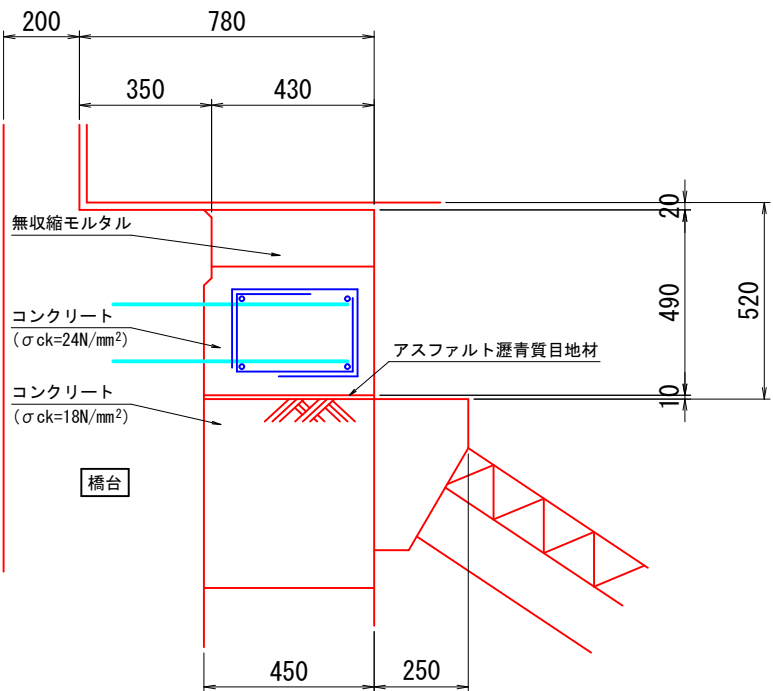
No. 9 チッピング2



No. 10 無収縮モルタル打設



No. 11 完了

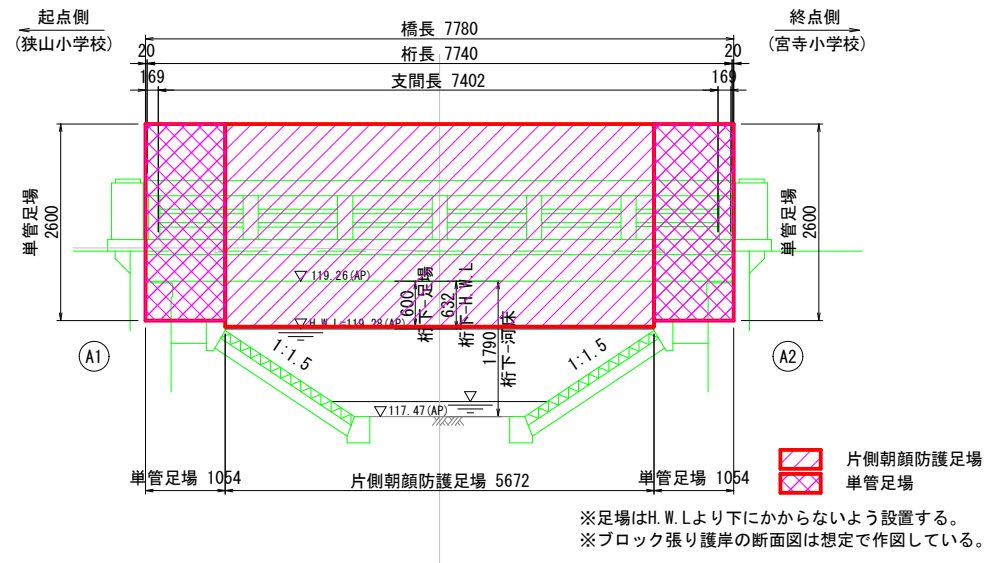


注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
2. 図中詳細寸法等は、現地計測のうえ決定すること。
3. 特記なき鉄筋はすべてSD345とする。
4. 裏込め材の撤去量については、最小限にとどめ、作業には細心の注意を払うこと。
なお、護岸への影響が確認された場合、河川管理者の指示を仰ぐこと。

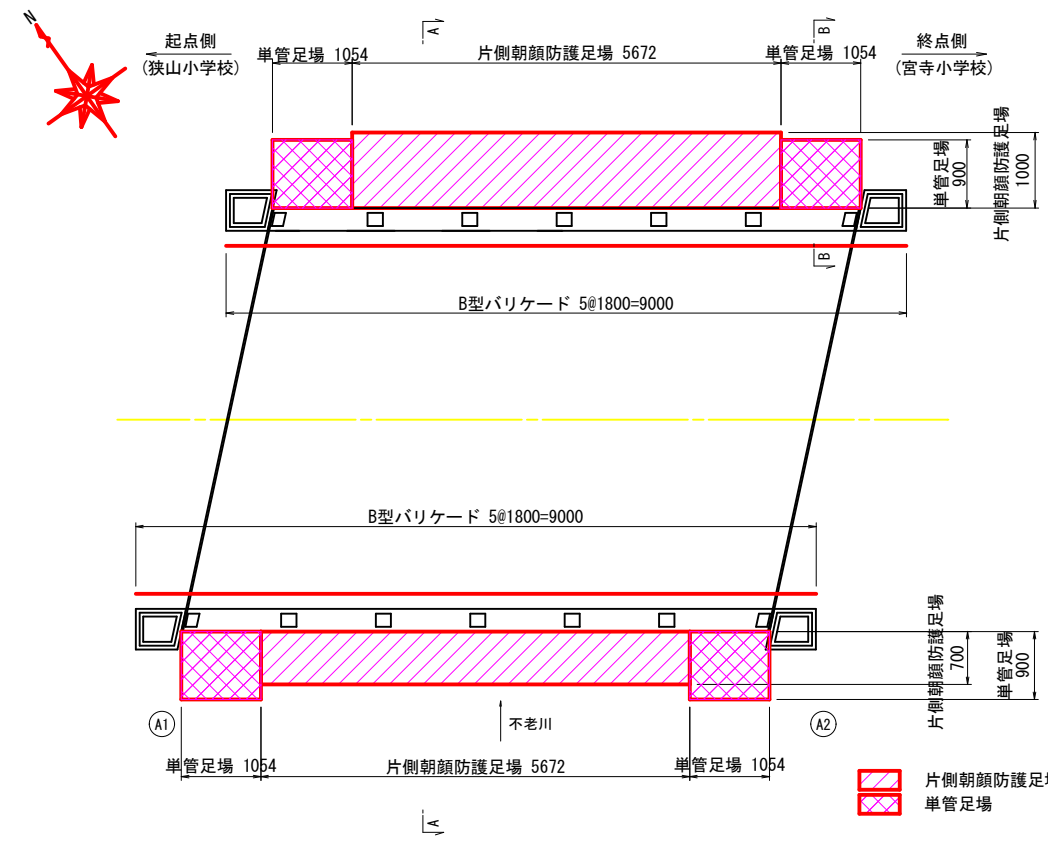
年 度	令和 8・9 年度（継続事業）				
工 事 名	大橋耐震補強・補修工事				
路線名/河川名	市道D161号線/不老川				
工事場所	入間市宮寺地内				
図 面 名	台座拡幅工図(3)				図面番号
					15 / 16
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計	入間市 都市整備部 道路整備課				

大橋 仮設工計画図（参考図）

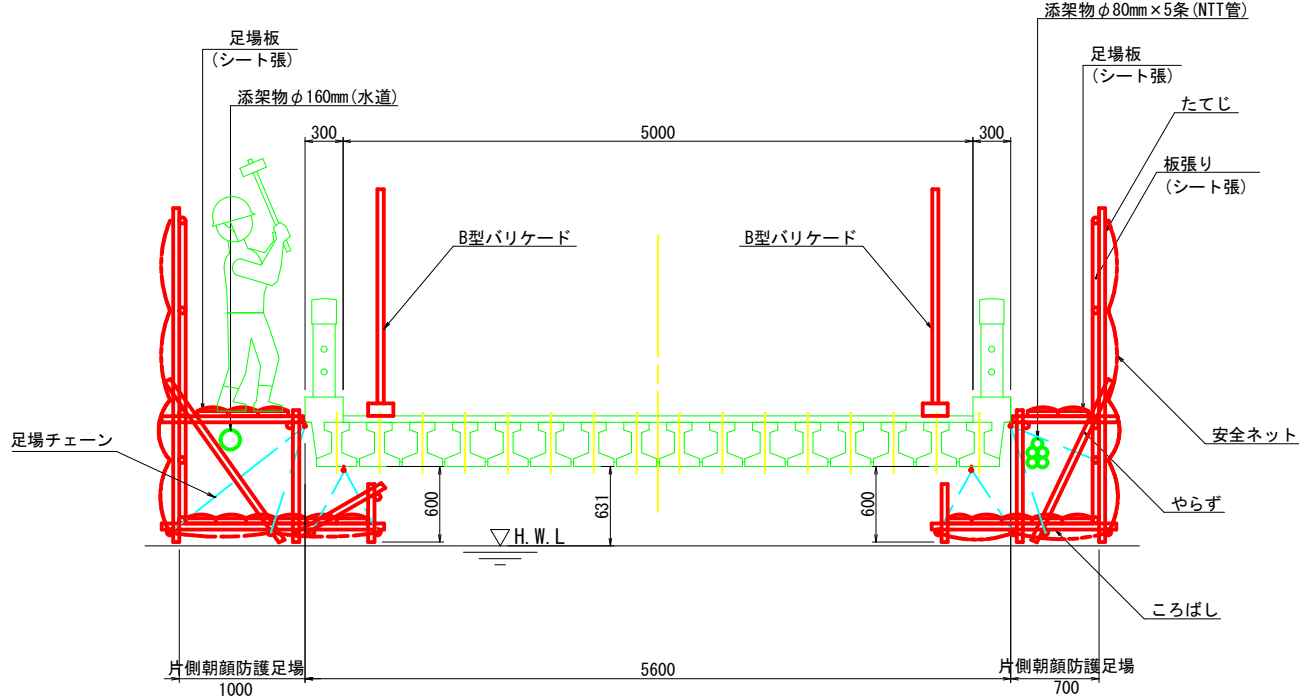
側面図 S=1/50



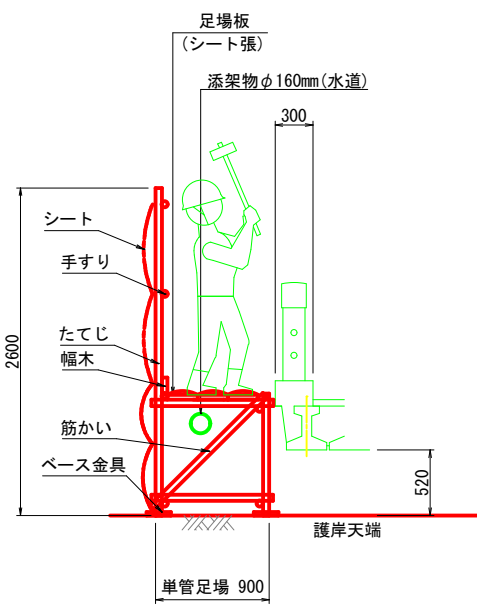
平面図 S=1/50



A-A断面図 S=1/30



B-B断面図 S=1/30



仮設工数量表

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
片側朝顔防護足場	板張り+シート張り防護	m ²	9.6	
単管足場	W=900	掛m ²	11.0	
バリケード	B型バリケード	m	18.0	

- 注) 1. 添架物を損傷させることのないよう注意すること。
2. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
3. 本図での方位はおおよその向きを示すものであり、測量結果に基づくものではない。
4. H.W.L.、河床高、桁下高は令和3年6月測量の「河川改修調査工事
(不老川定期縦断測量業務委託その3) 縦断図/埼玉県総合治水事務所」を参考として作成した。
5. あと施工アンカー使用後は、アンカーを除去し樹脂モルタル等により充填補修を行うこと。

年 度	令和 8・9 年度 (継続事業)				
工 事 名	大橋耐震補強・補修工事				
路線名/河川名	市道D161号線/不老川				
工事場所	入間市宮寺地内				
図 面 名	仮設工計画図(参考図)				図面番号
					16 / 16
部長	次長	課長	リーダー	技師	設計
星	坂本	平塚	矢尾	田代	新井
設 計	入間市 都市整備部 道路整備課				